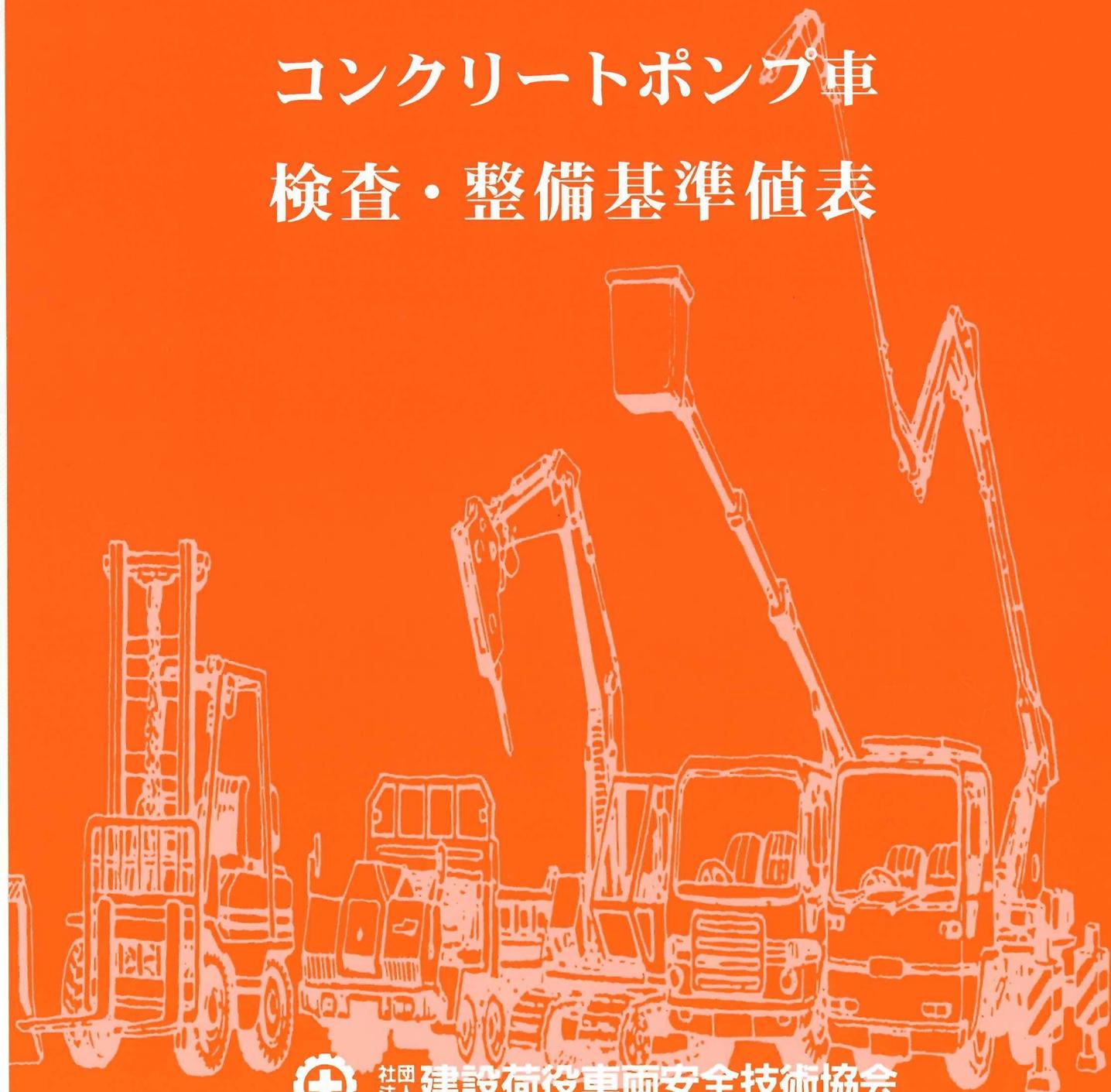


SS-CP-01-B

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表



社団法人 建設荷役車両安全技術協会

まえがき

車両系建設機械を有効に稼働させ、常に安全な状態に維持するためには、適正な定期自主検査と整備作業がなされなければなりません。

そのためには、検査結果の良否の判断のもと、及び整備作業のもととなる基準が常に利用できる状態であることが大切です。

各機械の検査・整備基準が検査・整備業に広く開示される必要があるとの観点から、「検査・整備基準値表」を作成しています。

「検査・整備基準値表」の編集にあたっては、当協会の公益性に鑑み、国内で販売されている対象機種の商品をできるだけ多く網羅することを基本方針としていますが、幸いにも多数のメーカーの賛同を得て、今般、改訂第3版を発行する運びとなりました。

当協会の趣旨にご賛同くださり、編集委員の派遣、原稿の提供等に快く応じてくださった各メーカー及び関連各位に対し、心よりお礼を申し上げます。

平成 23 年 2 月

(社) 建設荷役車両安全技術協会
会 長 吉 識 晴 夫

検査・整備基準値表の改訂にご尽力いただいた方々は次のとおりです。

委員長 岡部元一 極東開発工業 株式会社

委員 稲田善明 日工ダイヤクリート 株式会社

〃 近藤澄男 株式会社 岩田商会

〃 西村昌樹 I H I 建機 株式会社

〃 山中章男 株式会社 シンテック

〃 千々岩伸佐久 極東開発工業 株式会社

〃 舟井克輝 株式会社 大一テクノ

原稿提供 プツマイスタージャパン 株式会社

事務局 片井康隆 社団法人 建設荷役車両安全技術協会

検査・整備基準値表の利用上の留意事項

1. 「基準値表」の表示

- (1) 「基準値表」の表示はメーカー（ア～オ順）ごとにまとめています。
- (2) 同一メーカー内の表示はタイプ別に概ね小→大に分類しており、巻末に検査の際の機械姿勢を図形表示してあります。
- (3) 各ページは、機械のモデルごとに2ページ分の見開きで表示してあります。
- (4) 同一製品がOEM供給元とOEM供給先の双方で並行販売されている場合には、供給元と供給先の双方のモデル名でそれぞれに掲載してあります。

2. 収録モデルの範囲

(1) 時期的な収録範囲

この「検査・整備基準値表」は、平成22年9月末現在迄に日本国内において製造又は販売されているモデルを極力収録してあります。

(2) モデルサイズの収録範囲

この「検査・整備基準値表」には、コンクリートポンプ車（トラック式のブーム車及び配管車）を収録してあります。

3. 「検査・整備基準値表」の項目の選定

- (1) 定期自主検査指針（平成5年12月付け公示16号）において「メーカーの定める基準値」と表記してある項目を収録してその基準値を数値で表示することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断に委ねてあります。
- (2) 「新車だけに適用される基準値」であることを特に表示する場合には、当該基準値の左肩上に☆印を付し、表の脚注に「新車基準値」である旨を表記してあります。

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表

目 次

I H I 建機株式会社	IPF50TE-4N～	2
	IPJ70B-4N18～	6
	IPH20B-1N13～	14
株式会社岩田商会	IC-40H～	20
	IC-60B-18L	24
極東開発工業株式会社	PT50-10(11)～	30
	PY21-51A	34
	PY120(A)-36	38
	PH20-11	42
	PH11-50	46
	PQ45-10	50
株式会社シンテック	MKW-35CB～	56
株式会社大一・テクノ	DCP-35SL～	62
	DCP-50ML	66
日工ダイヤクリート株式会社	DC-M700BR～	72
	DC-SL1100BDH-M26	80
プツマイスタージャパン株式会社	BSF2107HP～	86
新潟鐵工所	NCP7FB～	92

I H I 建機

適用範囲		モデル名		IPF50TE-4N	IPF90T-7E	IPF50B-4N14 IPF50B-5N16	IPF60B-5N17/4	
		主仕様	吸吐弁型式	—	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁
			最大吐出量	m ³ /h	50	90	50	60
			最大吐出圧力	MPa	4.6	7.1/4.6	4.6	4.6
			ブーム最大地上高	m	—	—	14/16	17
		適用号機		IPA33001~	IPA35001~	IPA26001~ IPF11001~	IPA66001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	40±1	37/26±1	40±1	36±1
			ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	32±2	32±2	32±2	32±2	
		チェーンのたわみ	mm	15±10	15±10	15±10	15±10	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	真空ポンプ	圧力設定値	kPa	—	—	—	—	
		(設定値到達時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)	
圧力降下許容値		kPa	—	—	—	—		
(保持時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)			
Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—			
ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	—	—	1	1	
		ブーム (2) シリンダ	mm	—	—	1	1	
		ブーム (3) シリンダ	mm	—	—	1	1	
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	1	
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—	
		(測定時間)	(min)	(—)	(—)	(10)	(10)	
	(作動計測条件)	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]		
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	—	—	19±10	19±10	
		縮み	sec	—	—	45±10	45±10	
		ブーム (2) 伸び	sec	—	—	30±10	30±10	
		縮み	sec	—	—	45±10	45±10	
ブーム (3) 伸び		sec	—	—	30±10	30±10		
縮み		sec	—	—	30±10	30±10		
ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	30±10			
縮み	sec	—	—	—	30±10			
ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—			
縮み	sec	—	—	—	—			
(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(2000)	(2000)			
(作動油温度)	(°C)	[—]	[—]	(50 ± 5)	(50 ± 5)			
(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]			
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—	—	
		油圧水圧飛距離	MPa m	2.5 —	3.9 —	2.5 —	3.9 —	
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.7(オプション)	0.7(オプション)	0.7(オプション)	0.7(オプション)	
(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)			
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)			
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)			

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

IPF90B-4N21 IPF90B-5N21	IPF110B-7E21	IPF110B-8E21	IPF100B-8E26/4	IPF100B-6N27	IPF100B-6N29		
滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁		
90	110/64	110/64	100/64	100	100		
4.6	8.0/5.2	8.0/5.2	8.0/5.2	5.9	5.9		
21	21	21	26	27	29		
IPA40001~ IPA42001~	IP97001~	IPA55001~	IPF12001~	IP98001~ IPA37001~	IPA59001~		
検 査 基 準 値							
41±1 —	41/26±1 —	36/25±1 —	35/22±1 —	40/36±1 —	32±1 —		
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)		
36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10		
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)		
— (—)							
— (—)							
—	—	—	—	—	—		
1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1		
(10) [—] [図 No.1]	(10) [—] [図 No.1]	(10) [—] [図 No.1]	(10) [—] [図 No.1]	(10) [—] [図 No.1]	(10) [—] [図 No.1]		
45±10 70±10	45±10 70±10	45±10 70±10	40±10 60±10	75±10 75±10	75±10 75±10		
50±10 60±10	50±10 60±10	50±10 60±10	60±10 60±10	80±10 80±10	80±10 80±10		
50±10 45±10	50±10 45±10	50±10 45±10	60±10 60±10	70±10 70±10	70±10 70±10		
— —	— —	— —	50±10 50±10	— —	— —		
— —	— —	— —	— —	— —	— —		
(2000) (50 ± 5) [図 No.3]	(2000) (50 ± 5) [図 No.3]	(2000) (50 ± 5) [図 No.3]	(2000) (50 ± 5) [図 No.3]	(2000) (50 ± 5) [図 No.3]	(2000) (50 ± 5) [図 No.3]		
— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —		
0.7(お ^ろ シヨソ)							
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)		

適用範囲		モデル名		IPF50TE-4N	IPF90T-7E	IPF50B-4N14 IPF50B-5N16	IPF60B-5N17/4	
		主仕様	吸吐弁型式	—	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁
			最大吐出量	m ³ /h	50	90	50	60
			最大吐出圧力	MPa	4.4	7.1/4.6	4.6	4.6
			ブーム最大地上高	m	—	—	14/16	17
適用号機		IPA33001～	IPA35001～	IPA26001～ IPF11001～	IPA66001～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	23.5	27.4	23.5	23.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	11.8	10.3	11.8	11.8	
		かくはんモータ油圧	MPa	14.7	14.7	14.7	14.7	
		ブーム油圧	MPa	—	—	24.5	24.5	
		ACCガス封入圧力	MPa	5.9	5.9	5.9	5.9	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)		
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付ボルトの締付トルク	N・m	—	—	157+10	176+10	
		内輪取付ボルトの締付トルク	N・m	—	—	157+10	265+10	
		取付ボルトの交換基準	年	—	—	注1	注1	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	—	—	100±10	110±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(360)	(360)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(2000)	(2000)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	アウトリガー	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1
			(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]
特記事項				エンジン駆動 電動機駆動切 替機能付き	吐出圧力 高低圧切替機 能付き	号機により ブーム長さが 異なる		
				注1 ① 3年毎に内輪、外輪ともに全数交換 ② 1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPF90B-4N21 IPF90B-5N21	IPF110B-7E21	IPF110B-8E21	IPF100B-8E26/4	IPF100B-6N27	IPF100B-6N29		
滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁		
90	110/64	110/64	100/64	100	100		
4.6	8.0/5.2	8.0/5.2	8.0/5.2	5.9	5.9		
21	21	21	26	27	29		
IPA40001～ IPA42001～	IP97001～	IPA55001～	IPF12001～	IP98001～ IPA37001～	IPA59001～		
検 査 基 準 値							
27.4	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9		
10.3	10.3	10.3	13.7	10.3	17.6		
14.7	14.7	14.7	14.7	14.7/15.7	15.7		
30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9		
6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4		
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)		
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
186+10	186+10	186+10	186+10	353+10	353+10		
265+10	265+10	265+10	353+10	353+10	353+10		
注 1	注 1	注 1	注 1	注 1	注 1		
120±10	120±10	120±10	120±10	165±10	165±10		
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)		
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)		
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
1	1	1	1	1	1		
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)		
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]		
	吐出圧力 高低圧切替機 能付き	吐出圧力 高低圧切替機 能付き	吐出圧力 高低圧切替機 能付き	号機によりピ ストンストロ ークが異なる			
注 1 ① 3年毎に内輪、外輪ともに全数交換 ② 1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換							

I H I 建機

適用範囲		モデル名		IPJ70B-4N18	IPG70B-4N18	IPG70B-5N17W	IPG90T-12E	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	70	70	70	90/50
			最大吐出圧力	MPa	4.1	4.1	4.7	11.8/6.6
		ブーム最大地上高	m	18	18	17	—	
		適用号機		IPG15001~ IPG15501~	IPG15601~	IPG25001~	IPG11001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	34±1	34±1	34±1	33/18±1
			ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	25/18±2	18	18±2	36±2	
		チェーンのたわみ	mm	—	—	—	15±10	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	真空ポンプ	圧力設定値	kPa	—	—	—	—	
		(設定値到達時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)	
圧力降下許容値		kPa	—	—	—	—		
(保持時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)			
Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—			
作業装置	シリンドラ 自然降下量	ブーム (1) シリンドラ	mm	1	1	1	—	
		ブーム (2) シリンドラ	mm	1	1	1	—	
		ブーム (3) シリンドラ	mm	1	1	1	—	
		ブーム (4) シリンドラ	mm	—	—	—	—	
		ブーム (5) シリンドラ	mm	—	—	—	—	
	(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(—)		
	(作動計測条件)		[—]	[—]	[—]	[—]		
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No.]		
	☆ブームシリンドラ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	50±10	50±10	50±10	—	
		縮み	sec	50±10	50±10	50±10	—	
		ブーム (2) 伸び	sec	40±10	40±10	40±10	—	
		縮み	sec	75±10	75±10	75±10	—	
ブーム (3) 伸び		sec	40±10	40±10	40±10	—		
縮み		sec	55±10	55±10	55±10	—		
ブーム (4) 伸び		sec	—	—	—	—		
縮み	sec	—	—	—	—			
ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—			
縮み	sec	—	—	—	—			
(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(—)			
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(—)			
(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]			
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	0.3(電動ポンプ)	3.9	3.9	—	
		油圧水圧飛距離	m	—	—	—	9.8	
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.7(7 [°] シオン)	0.7(7 [°] シオン)	0.7(7 [°] シオン)	0.7(7 [°] シオン)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)			
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPG115B-8E26/4	IPG125B-8E26/4	IPG90B-12E26/4	IPG115B-6N29	IPG115B-8E29	IPJ115B-6N30	IPG115B-7E30	IPG125B-6N33/4
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
115/74	125/74	87/48	115	115/74	115	115/74	125
7.0/4.5	7.0/4.5	11.7/6.5	5.2	7.0/4.5	6.3	7.0/4.5	6.4
26	26	26	29	29	30	30	33
IPA69001~	IPG26001~	IPG24001~	IPA75001~	IPA76001~	IPG14001~	IPG20001~	IPG19001~
検 査 基 準 値							
35/22±1 —	36/23±1 —	34/19±1 —	35±1 —	35/22±1 —	35±1 —	35/22±1 —	32±1 —
(2000) (—) (50 ± 5)	(1800) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)
36±2 15±10	35 —	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10
(2000) (—) (50 ± 5)	(1800) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1 1 1 1 —	1 1 1 1 —	1 1 1 1 —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 1 —
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
40±10 60±10	40±10 60±10	40±10 60±10	75±10 75±10	75±10 75±10	75±10 75±10	75±10 75±10	60±10 85±10
60±10 60±10	65±10 60±10	60±10 60±10	80±10 80±10	80±10 80±10	80±10 80±10	80±10 80±10	120±10 120±10
60±10 60±10	60±10 60±10	60±10 60±10	70±10 70±10	70±10 70±10	70±10 70±10	70±10 70±10	120±10 120±10
50±10 50±10	50±10 50±10	50±10 50±10	— —	— —	— —	— —	45±10 60±10
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(1800) (—) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]
— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —
0.7(ワ°シヨソ)	0.7(ワ°シヨソ)	0.7(ワ°シヨソ)	0.7(ワ°シヨソ)	0.7(ワ°シヨソ)	0.7	0.7(ワ°シヨソ)	0.7(ワ°シヨソ)
(2000) (—) (50 ± 5)	(1800) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)

適用範囲		モデル名		IPJ70B-4N18	IPG70B-4N18	IPG70B-5N17W	IPG90T-12E	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	70	70	70	90/50
			最大吐出圧力	MPa	4.1	4.1	4.7	11.8/6.6
			アーム最大地上高	m	18	18	17	—
適用号機		IPG15001～ IPG15501～	IPG15601～	IPG25001～	IPG11001～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.4	27.4	30.9	32.7	
		弁シリンダ油圧	MPa	11.8	11.8	11.8	14.3/17.9	
		かくはんモータ油圧	MPa	12.7	12.7	12.7	15.3	
		ブーム油圧	MPa	27.4	27.4	27.4	—	
		ACCガス封入圧力	MPa	5.9	5.9	5.9	9.2	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)		
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルトの 締付け	外輪取付ボルトの締付トルク	N・m	392+10	392+10	392+10	—	
		内輪取付ボルトの締付トルク	N・m	686+10	686+10	686+10	—	
		取付ボルトの交換基準	年	注1	注1	注1	—	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	150±10	150±10	150±10	—	
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(360)	(—)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(1500)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(—)		
	アウトリガー	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1
			(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No.2]			
特記事項							吐出圧力 高低圧切替機能付き	
				注1 ① 3年毎に内輪、外輪ともに全数交換 ② 1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPG115B-8E26/4	IPG125B-8E26/4	IPG90B-12E26/4	IPG115B-6N29	IPG115B-8E29	IPJ115B-6N30	IPG115B-7E30	IPG125B-6N33/4
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
115/74	125/74	87/48	115	115/74	115	115/74	125
7.0/4.5	7.0/4.5	11.7/6.5	5.2	7.0/4.5	6.5	7.0/4.5	6.4
26	26	26	29	29	30	30	33
IPA69001～	IPG26001～	IPG24001～	IPA75001～	IPA76001～	IPG14001～	IPG20001～	IPG19001～
検 査 基 準 値							
30.9	30.9	30.9/23.5	30.9	30.9	27.4	30.9	30.9
13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7
14.7	14.7	14.7	14.7	14.7	14.7	10.8	14.7
30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9
6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4
(2000)	(1800)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
186+10	186+5	186+10	353+10	353+10	353+10	353+10	426+10
353+10	353+5	353+10	353+10	353+10	353+10	353+10	426+10
注 1	注 1	注 1	注 1	注 1	注 1	注 1	注 1
120±10	120±10	120±10	165±10	165±10	165±10	165±10	200±10
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)
(2000)	(1800)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
1	1	1	1	1	1	1	1
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
吐出圧力 高低圧切替機 能付き	吐出圧力 高低圧切替機 能付き	吐出圧力 高低圧切替機 能付き 主油圧リ-7 2段切替		吐出圧力 高低圧切替機 能付き		吐出圧力 高低圧切替機 能付き	
注 1 ① 3年毎に内輪、外輪ともに全数交換 ② 1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換							

I H I 建機

適用範囲		モデル名		IPG125B-6N33/4	IPG135B-6N36/4			
		仕様様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁		
最大吐出量	m ³ /h		125	135				
最大吐出圧力	MPa		6.4	6.4				
ブーム最大地上高	m		33	36				
		適用号機		IPG19129~	IPG18001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作 業 装 置	圧 送 装 置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	33±1	28±1		
			ロータ回転数	回/min	—	—		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800)	(2000)			
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)			
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)				
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	32±2	36±2			
		チェーンのたわみ	mm	15±10	15±10			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800)	(2000)			
	真空ポンプ	圧力設定値	kPa	—	—			
		(設定値到達時間)	(min)	(—)	(—)			
		圧力降下許容値	kPa	—	—			
	(保持時間)	(min)	(—)	(—)				
Vベルトのたわみ	mm	—	—					
ブ ー ム 装 置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1	1			
		ブーム (2) シリンダ	mm	1	1			
		ブーム (3) シリンダ	mm	1	1			
		ブーム (4) シリンダ	mm	1	1			
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—			
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)			
	(作動計測条件)		[—]	[—]				
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.1]	[図 No.1]				
	☆ ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	70±10	75±10			
		縮み	sec	85±10	75±10			
		ブーム (2) 伸び	sec	80±10	120±10			
		縮み	sec	120±10	120±10			
ブーム (3) 伸び		sec	80±10	120±10				
縮み		sec	120±10	120±10				
ブーム (4) 伸び	sec	45±10	45±10					
縮み	sec	60±10	45±10					
ブーム (5) 伸び	sec	—	—					
縮み	sec	—	—					
(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800)	(2000)					
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)					
(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.3]	[図 No.3]					
洗 浄 装 置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—			
		油圧	MPa	3.9	3.9			
		水圧	m	—	—			
	飛距離	m	—	—				
空圧機	吐出圧力	MPa	0.7(オプション)	0.7(オプション)				
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800)	(2000)				
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)				
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)					

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

適用範囲		モデル名		IPG125B-6N33/4	IPG135B-6N36/4			
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁		
			最大吐出量	m ³ /h	125	135		
			最大吐出圧力	MPa	6.4	6.4		
			アーム最大地上高	m	33	36		
適用号機		IPG19129～		IPG18001～				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	30.9	30.9			
		弁シリンダ油圧	MPa	13.7	13.7			
		かくはんモータ油圧	MPa	14.7	14.7			
		ブーム油圧	MPa	30.9	30.9			
		ACCガス封入圧力	MPa	6.4	6.4			
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800)	(2000)				
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)				
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)					
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルトの締付け	外輪取付ボルトの締付トルク	N・m	426+10	426+10			
		内輪取付ボルトの締付トルク	N・m	426+10	426+10			
		取付ボルトの交換基準	年	注1	注1			
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	200±10	200±10			
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800)	(2000)			
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)			
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)				
	アウトリガー	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	1	1		
			(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]		
特記事項				注1 ① 3年毎に内輪、外輪ともに全数交換 ② 1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

I H I 建機

適用範囲		モデル名		IPH20B-1N13	IPH30B-1N14	IPH30B-2N15	IPH30B-2N16	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	20	30	30	30
			最大吐出圧力	MPa	1	1	2.0	2.0
			ブーム最大地上高	m	13	14	15	16
適用号機		IPA11001~	IPA13001~	IPA45001~ IPA81001~	IPB11001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作 業 装 置	圧 送 装 置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
			ロータ回転数	回/min	36±1	36±1	36±1	33±1
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1300)	(1300)	(1600)	(1800)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	25±2	25±2	25±2	25±2	
		チェーンのたわみ	mm	15±10	15±10	15±10	15±10	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1300)	(1300)	(1600)	(1800)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
Vベルトのたわみ		mm	—	—	—	—		
業 装 置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1	1	1	1	
		ブーム (2) シリンダ	mm	1	1	1	1	
		ブーム (3) シリンダ	mm	1	1	1	1	
		ブーム (4) シリンダ	mm	1	1	1	1	
		ブーム (5) シリンダ	mm	1	1	1	1	
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	
	☆ ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	40±10	40±10	40±10	40±10	
		ブーム (1) 縮み	sec	45±10	45±10	45±10	45±10	
		ブーム (2) 伸び	sec	50±10	50±10	50±10	50±10	
		ブーム (2) 縮み	sec	55±10	55±10	55±10	55±10	
		ブーム (3) 伸び	sec	45±10	45±10	45±10	45±10	
		ブーム (3) 縮み	sec	55±10	55±10	55±10	55±10	
水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	0.2(電動ポンプ)	0.2(電動ポンプ)	0.2(電動ポンプ)	0.2(電動ポンプ)		
	油圧水圧 飛距離	MPa m						
	吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)		

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

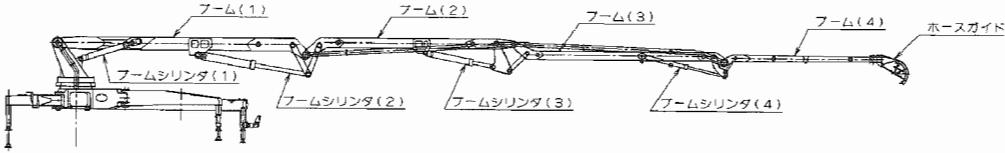
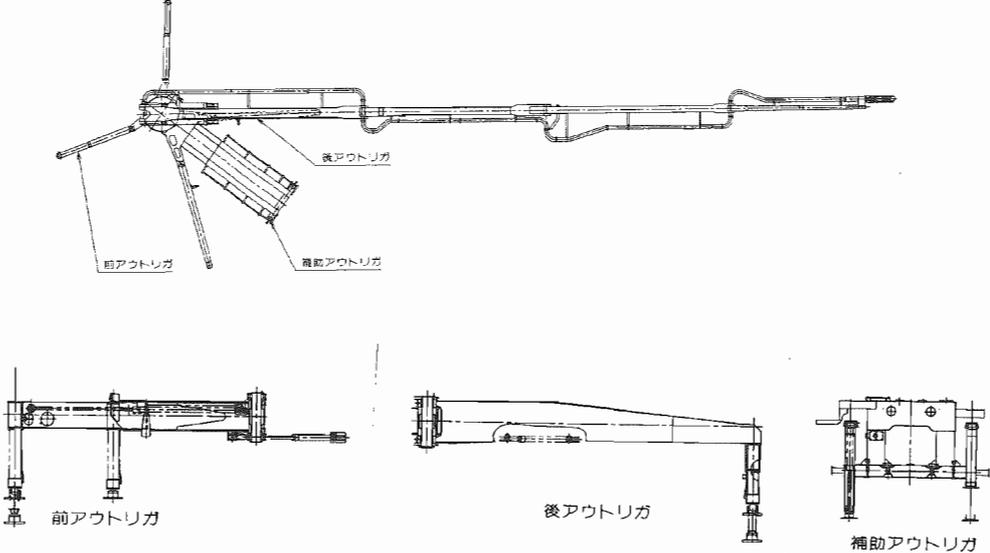
IPH40B-2N16	IPH50B-2N16	IPH55B-2N16					
スクイズ	スクイズ	スクイズ					
40/28	50	55					
2.0/1.3	2.0	2.0					
16	16	16					
IPB11501~	IPA36001~	IPA52001~					
検 査 基 準 値							
—	—	—					
33/22±1	36±1	36±1					
(1800) (—) (50 ± 5)	(1650) (—) (50 ± 5)	(1600) (—) (50 ± 5)					
25±2 15±10	25±2 15±10	25±2 15±10					
(1800) (—) (50 ± 5)	(1650) (—) (50 ± 5)	(1600) (—) (50 ± 5)					
— (—)	— (—)	— (—)					
— (—)	— (—)	— (—)					
—	—	—					
1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 — —					
(10) [—] [図 No.1]	(10) [—] [図 No.1]	(10) [—] [図 No.1]					
40±10 45±10	40±10 45±10	40±10 45±10					
50±10 55±10	50±10 55±10	50±10 55±10					
45±10 55±10	45±10 55±10	45±10 55±10					
— —	— —	— —					
— —	— —	— —					
(1800) (50 ± 5) [図 No.3]	(1650) (50 ± 5) [図 No.3]	(1600) (50 ± 5) [図 No.3]					
0.2(電動ポンプ)	0.2(電動ポンプ)	0.2(電動ポンプ)					
—	—	—					
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)					

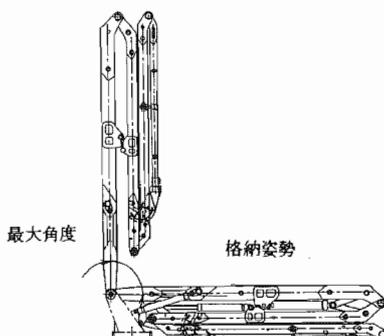
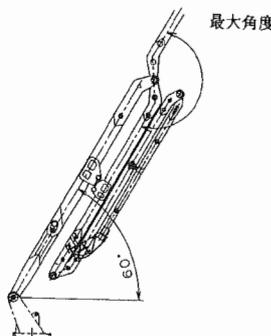
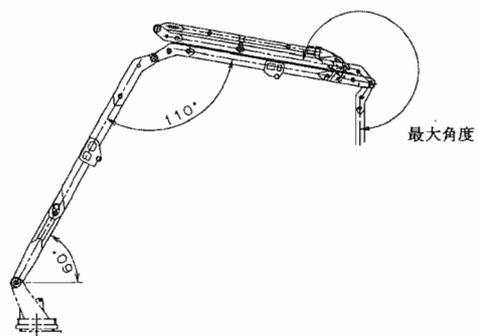
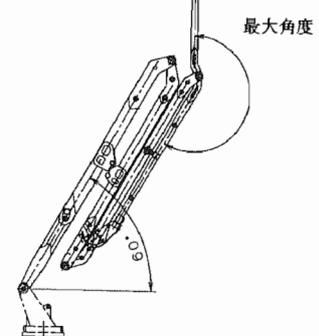
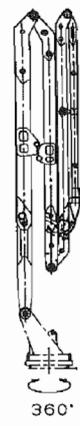
適用範囲		モデル名		IPH20B-1N13	IPH30B-1N14	IPH30B-2N15	IPH30B-2N16	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	20	30	30	30
			最大吐出圧力	MPa	1.0	1	2.0	2.0
			アーム最大地上高	m	13	14	15	16
適用号機		IPA11001~	IPA13001~	IPA45001~ IPA81001~	IPB11001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	19.6	19.6	18.1	20.6	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	6.9	8.3	8.3	10.8	
		ブーム油圧	MPa	15.7	15.7	19.6	20.6	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1300)	(1300)	(1600)	(1800)		
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付ボルトの締付トルク	N・m	176+10	176+10	176+10	159+10	
		内輪取付ボルトの締付トルク	N・m	176+10	176+10	176+10	159+10	
		取付ボルトの交換基準	年	注1	注1	注1	注1	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	80±10	80±10	90±10	90±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(360)	(360)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1300)	(1300)	(1600)	(1800)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	☆ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	自然伸縮量	mm	1	1	1	1
			(測定時間)	min	(10)	(10)	(10)	(10)
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]
特記事項				注1 ① 3年毎に内輪、外輪ともに全数交換 ② 1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPH40B-2N16	IPH50B-2N16	IPH55B-2N16					
スクイズ	スクイズ	スクイズ					
40/28	50	55					
2.0/1.3	2.0	2.0					
16	16	16					
IPB11501～	IPA36001～	IPA52001～					
検 査 基 準 値							
20.6	20.6	20.6					
—	—	—					
10.8	7.8	7.8					
20.6	24.5	24.5					
—	—	—					
(1800)	(1650)	(1600)					
(—)	(—)	(—)					
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)					
159+10	157+10	157+10					
159+10	157+10	157+10					
注1	注1	注1					
90±10	80±10	80±10					
(360)	(360)	(360)					
(1800)	(1650)	(1600)					
(—)	(—)	(—)					
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)					
1	1	1					
(10)	(10)	(10)					
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]					
ロータ回転数 2段切替機能 つき							
注1 ① 3年毎に内輪、外輪ともに全数交換 ② 1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換							

I H I 建機

項目	測定方法	計測姿勢
<p>ブームシリンダ 自然降下</p>	<p>アウトリガを最大に張り出し、ブームを真っ直ぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は根元ホースのみとする。</p>	<p>図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)</p> 
<p>アウトリガシリンダ 自然降下</p>	<p>ブームを水平に伸ばし、アウトリガ真上位置に置く。アウトリガにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。</p>	<p>図-2 アウトリガシリンダ自然降下計測姿勢</p> 

項目	測定方法	計測姿勢
ブーム作動速度	アウトリガを最大に張り出し、各ブームシリンダの全ストロークを作動時間をストップウォッチで計測する。計測姿勢は右記の通り。	<div style="text-align: center;"> <p>図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ブーム(1) 計測姿勢</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ブーム(2) 計測姿勢</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ブーム(3) 計測姿勢</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ブーム(4) 計測姿勢</p>  </div> </div>
旋回作動速度	アウトリガを最大に張り出し、右記のブーム姿勢にて360°旋回の作動時間をストップウォッチで計測する。	<div style="text-align: center;"> <p>図-4 旋回作動速度計測姿勢</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

岩 田 商 会

適用範囲		モデル名		IC-40H	IC-55H	IC-40B	IC-40B II		
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	
			最大吐出量	m ³ /h	40	55	40	50	
			最大吐出圧力	MPa	2.16	2.16	2.16	2.16	
		7 [°] m最大地上高	m	—	—	12	12		
		適用号機							
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値					
作 業 装 置	圧	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—		
		ロータ回転数	回/min	37	40	37	37		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2200)	(2000)	(2000)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	送	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	34±3	37±3	34±3	34±3	
			チェーンのたわみ	mm	15±10	15±10	15±10	15±10	
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2200)	(2000)	(2000)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	置	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	80 (10以下)	80 (10以下)	80 (10以下)	80 (10以下)	
			圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	5.7 (10)	5.7 (10)	5.7 (10)	5.7 (10)	
Vベルトのたわみ			mm	15~20	—	—	—		
業 装 置	シリンド 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	—	—	2以下	2以下		
		ブーム (2) シリンダ	mm	—	—	2以下	2以下		
		ブーム (3) シリンダ	mm	—	—	2以下	2以下		
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—		
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—		
		(測定時間)	(min)	(—)	(—)	(10)	(10)		
	(作動計測条件)	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.1]	[図 No.1]			
	☆ ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸縮	伸び	sec	—	—	25±5	25±5	
			縮み	sec	—	—	35±5	35±5	
			ブーム (2) 伸縮	伸び	sec	—	—	20±5	20±5
				縮み	sec	—	—	25±5	25±5
ブーム (3) 伸縮			伸び	sec	—	—	25±5	25±5	
			縮み	sec	—	—	35±5	35±5	
ブーム (4) 伸縮	伸び	sec	—	—	—	—			
	縮み	sec	—	—	—	—			
ブーム (5) 伸縮	伸び	sec	—	—	—	—			
	縮み	sec	—	—	—	—			
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(1500)	(1500)			
	(作動油温度)	(°C)	[—]	[—]	(50 ± 5)	(50 ± 5)			
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.2]	[図 No.2]			
洗 浄 装 置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
		油圧	MPa	0.17	0.17	0.17	0.17		
		水圧	MPa	—	—	—	—		
	飛距離	m	5	5	5	5			
空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—			
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)			
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)			
	(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)			

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

IC-50B-12L	IC-50B-14L	IC-45B	IC-55B	IC-55B-15L	IC-55B-17L	IC-65B-17L	IC-55B II
スクイーズ							
50	50	45	55	55	55	55	55
2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16
12	14	14.5	14.5	15.5	17	17	16
検 査 基 準 値							
— 37	— 37	— 40	— 40	— 40	— 40	— 37	— 40
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2200) (—) (50 ± 5)	(2200) (—) (50 ± 5)	(2200) (—) (50 ± 5)	(2200) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2200) (—) (50 ± 5)
34±3 15±10	34±3 15±10	37±3 15±10	37±3 15±10	37±3 15±10	37±3 15±10	34±3 15±10	34±3 15±10
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2200) (—) (50 ± 5)	(2200) (—) (50 ± 5)	(2200) (—) (50 ± 5)	(2200) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)
80 (10以下) 5.7 (10)							
—	—	—	—	—	—	—	—
2以下 2以下 2以下 — —							
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
25±5 35±5							
20±5 25±5							
25±5 35±5							
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]
— 0.17 5							
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) (—)							

適用範囲		モデル名		IC-40H	IC-55H	IC-40B	IC-40B II	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	40	55	40	50
			最大吐出圧力	MPa	2.16	2.16	2.16	2.16
		7°-A最大地上高	m	12	12	12	12	
		適用号機						
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	8.8±0.5	8.8±0.5	8.8±0.5	8.8±0.5	
		ブーム油圧	MPa	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2200)	(2000)	(2000)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	—	—	230±20(φ16)	440±20(φ20)	
		内輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	—	—	440±20(φ20)	440±20(φ20)	
		取付ボルトの交換基準	年	—	—	注1	注1	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	—	—	30±5	30±5	
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(90)	(90)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(1500)	(1500)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
アウトリガー	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	—	—	2以下	2以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(—) [図 No.]	(—) [図 No.]	(10) [図 No.1]	(10) [図 No.1]	
特記事項				注1：旋回ベアリング取付ボルトの中で緩み(新車基準トルク以下)がある場合は、そのボルトと両隣各2本の合計5本のボルトを交換する。 さらに、外輪取付ボルトの中で1本でも折損、脱落がある場合は外輪取付ボルトを全数を交換する。 また、内輪取付ボルトの中で、1本でも折損および脱落がある場合は外輪取付ボルトを全数を交換する。				

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

IC-50B-12L	IC-50B-14L	IC-45B	IC-55B	IC-55B-15L	IC-55B-17L	IC-65B-17L	IC-55B II
スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
50	50	45	55	55	55	65	55
2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16
12	14	14.5	14.5	15.5	17	17	16
検 査 基 準 値							
20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5
—	—	—	—	—	—	—	—
8.8±0.5	8.8±0.5	8.8±0.5	8.8±0.5	8.8±0.5	8.8±0.5	8.8±0.5	8.8±0.5
20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5
—	—	—	—	—	—	—	—
(2000)	(2000)	(2200)	(2200)	(2200)	(2200)	(2000)	(2200)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	230±20(φ16)
440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)
注1	注1	注1	注1	注1	注1	注1	注1
30±5	30±5	30±5	30±5	30±5	30±5	30±5	30±5
(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)
(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
<p>注1：旋回ベアリング取付ボルトの中で緩み（新車基準トルク以下）がある場合は、そのボルトと両隣各2本の合計5本のボルトを交換する。 さらに、外輪取付ボルトの中で1本でも折損、脱落がある場合は外輪取付ボルトを全数を交換する。 また、内輪取付ボルトの中で、1本でも折損および脱落がある場合は外輪取付ボルトを全数を交換する。</p>							

岩田商会

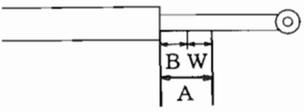
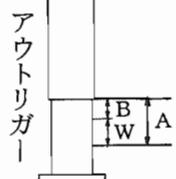
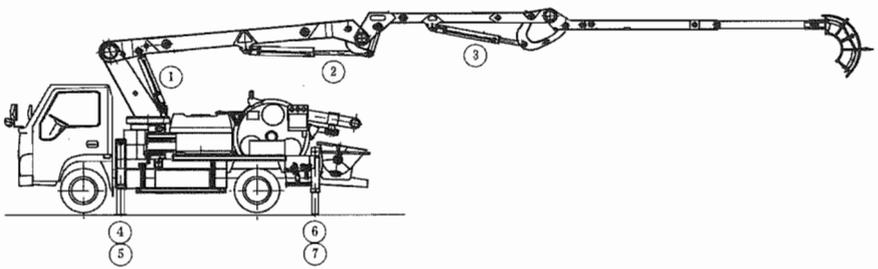
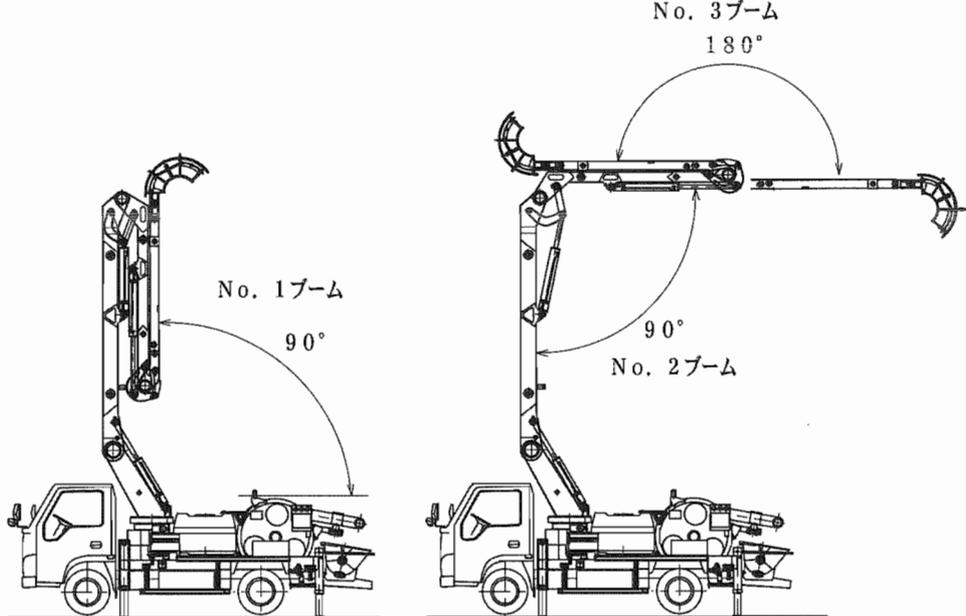
適用範囲		モデル名		IC-60B-18L	IC-65B-18L	IC-50B-15L	IC-55B-18L	
		仕様様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	60	65	50	55
			最大吐出圧力	MPa	2.16	2.16	2.16	2.16
		7°-M最大地上高	m	18	18	15	18	
		適用号機						
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—	
		ロータ回転数	回/min	44	37	37	40	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2200)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	40±3	34±3	34±3	37±3	
		チェーンのたわみ	mm	15±10	15±10	15±10	15±10	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2400)	(2000)	(2000)	(2200)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	80 (10以下)	80 (10以下)	80 (10以下)	80 (10以下)	
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	5.7 (10)	5.7 (10)	5.7 (10)	5.7 (10)	
Vベルトのたわみ		mm	—	—	—	—		
シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	2以下	2以下	2以下	2以下		
	ブーム (2) シリンダ	mm	2以下	2以下	2以下	2以下		
	ブーム (3) シリンダ	mm	2以下	2以下	2以下	2以下		
	ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—		
	ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—		
	(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)		
	(作動計測条件)		[—]	[—]	[—]	[—]		
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.1]	[図 No.1]	[図 No.1]	[図 No.1]		
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	35±5	35±5	25±5	38±5	
		ブーム (1) 縮み	sec	40±5	40±5	35±5	45±5	
ブーム (2) 伸び		sec	20±5	20±5	20±5	20±5		
ブーム (2) 縮み		sec	25±5	25±5	25±5	25±5		
ブーム (3) 伸び		sec	25±5	25±5	25±5	25±5		
ブーム (3) 縮み		sec	35±5	35±5	35±5	35±5		
ブーム (4) 伸び		sec	—	—	—	—		
ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	—			
ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—			
ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—			
(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)			
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)			
(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]			
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力 油圧	MPa	—	—	—	—	
		吐出圧力 水圧	MPa	0.17	0.17	0.17	0.17	
		吐出圧力 飛距離	m	5	5	5	5	
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—	
(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)			
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)			
(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

適用範囲		モデル名		IC-60B-18L	IC-65B-18L	IC-50B-15L	IC-55B-18L	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	60	65	50	55
			最大吐出圧力	MPa	2.16	2.16	2.16	2.16
			7°-4最大地上高	m	18	18	15	18
適用号機								
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	8.8±0.5	8.8±0.5	8.8±0.5	8.8±0.5	
		ブーム油圧	MPa	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2400)	(2000)	(2000)	(2200)	
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)			
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	
		内輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	440±20(φ20)	
		取付ボルトの交換基準	年	注1	注1	注1	注1	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	30±5	30±5	30±5	30±5	
		(旋回作動角度)	(度)	(90)	(90)	(90)	(90)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	☆ 自然伸縮量	シリンダ	各垂直シリンダ	mm	2以下	2以下	2以下	2以下
			(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No.1]	(10) [図 No.1]	(10) [図 No.1]	(10) [図 No.1]
	特記事項				注1：旋回ベアリング取付ボルトの中で緩み(新車基準トルク以下)がある場合は、そのボルトと両隣各2本の合計5本のボルトを交換する。 さらに、外輪取付ボルトの中で1本でも折損、脱落がある場合は外輪取付ボルトを全数を交換する。 また、内輪取付ボルトの中で、1本でも折損および脱落がある場合は外輪取付ボルトを全数を交換する。			

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

岩田商会

項目	測定方法	計測姿勢
<p>ブームシリンダ 自然降下量</p> <p>アウトリガ 自然伸縮量</p>	<p>降下量 $W = A - B$ (測定箇所：右図①～③) ブームシリンダ</p>  <p>伸縮量 $W = A - B$ (測定箇所：右図④～⑦)</p> 	<p>図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 及びアウトリガ自然伸縮計測姿勢</p> 
<p>ブームシリンダ 作動時間</p>		<p>図-2 ブーム作動速度計測姿勢</p> <p>No. 3ブーム 180°</p> <p>No. 1ブーム 90°</p> <p>No. 2ブーム 90°</p> 

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PT50-10(11)	PT70-10(11)	PT70-12	PY21-10	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	55(40)	73(54)	72(53)	100(70)
			最大吐出圧力	MPa	3.2(4.9)	5.5(7.9)	5.6(7.9)	5.4(7.8)
			ブーム最大地上高	m	<ブーム無し>	<ブーム無し>	<ブーム無し>	<ブーム無し>
			適用号機		98P040001~	96P080001~ 03P*****	05P010001~	84P010001~ 96P*****
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	25±2	22±2	22±2	25±2	
		ロータ回転数	回/min	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (2192 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	
	真空ポンプ	回転速度	min ⁻¹	22±2	32±2	32±2	31±3	
		チェーンのたわみ	mm	20・チェーン中央	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (2192 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	
	シリンダ	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—	
	洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	ブーム(1) シリンダ	mm	—	—	—	—
			ブーム(2) シリンダ	mm	—	—	—	—
			ブーム(3) シリンダ	mm	—	—	—	—
ブーム(4) シリンダ			mm	—	—	—	—	
ブーム(5) シリンダ			mm	—	—	—	—	
(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)			(min) [図面No.]	(—) (—) [—]	(—) (—) [—]	(—) (—) [—]	(—) (—) [—]	
☆ブームシリンダ 作動時間		ブーム(1) 伸び	sec	—	—	—	—	
		縮み	sec	—	—	—	—	
		ブーム(2) 伸び	sec	—	—	—	—	
		縮み	sec	—	—	—	—	
		ブーム(3) 伸び	sec	—	—	—	—	
		縮み	sec	—	—	—	—	
空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (2192 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)		
	吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	12.3±1		
	水圧	MPa	4.9	9.7	9.7	5.9		
	飛距離	m	—	—	—	—		

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

PY60-14/18	PY75(A)-16	PY75B-16(AB)	PY75(A)-18	PY75A-19(A)	PY75B-19A(B)	PY80-26H	PY21-51
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
60	78(55)	78(55)	78(55)	78(55)	78(55)	80	100(70)
4.7	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	12.3(8.3)	5.4(7.8)
14.3	16	16	18	18.6	18.6	25.7	21.4
98P040001~ 97P*****	98P100001~ 01P*****	01P110001~	97P020001~ 99P*****	00P040001~ 02P*****	02P020001~	98P100001~ 02P*****	83P000001~ 84P*****
検 査 基 準 値							
36±2	36±2	36±2	36±2	36±2	36±2	38±2	32±2
—	—	—	—	—	—	—	—
(2200 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2172 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(1400 ⁺⁰ / ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ / ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)
31±3 20・チェーン中央	27±2 20・チェーン中央	27±2 20・チェーン中央	27±2 20・チェーン中央	27±2 20・チェーン中央	27±2 20・チェーン中央	25±2 —	38±3 —
(2200 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2172 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(1400 ⁺⁰ / ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ / ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —
(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]
35±10 30±10	65±10 65±10	65±10 65±10	40±10 65±10	55±10 55±10	55±10 55±10	65±10 75±10	60±10 65±10
40±10 40±10	55±10 65±10	55±10 65±10	35±10 65±10	65±10 80±10	65±10 80±10	75±10 70±10	85±10 85±10
55±10 60±10	65±10 85±10	65±10 85±10	30±10 55±10	45±10 55±10	45±10 55±10	50±10 90±10	50±10 65±10
— —	— —	— —	— —	20±5 30±5	20±5 30±5	30±10 40±10	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(2200 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(1400 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(2200 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]
20.6±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 7.6 —	12.3±1 5.9 —
—	—	—	—	—	—	—	—
(2200 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2172 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ / ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(1400 ⁺⁰ / ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ / ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ / ₋₅₀) (50±10)

適用範囲		モデル名		PT50-10(11)	PT70-10(11)	PT70-12	PY21-10	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	55	73(54)	72(53)	100(70)
			最大吐出圧力	MPa	3.2(4.9)	5.5(7.9)	5.6(7.9)	5.4(7.8)
フォーム最大地上高	m	<フォーム無し>	<フォーム無し>	<フォーム無し>	<フォーム無し>			
		適用号機		98P040001~	96P080001~ 03P*****	05P010001~	84P010001~ 96P*****	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1	
		ブーム油圧	MPa	—	—	—	—	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	7.8±1	
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(シャシで異なる)	(1777 ⁺⁰ ₋₅₀)	(シャシで異なる)	(2192 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	—	—	—	—	
		内輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	—	—	—	—	
		取付ボルトの交換基準	年	—	—	—	—	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	—	—	—	—	
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
			(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)
	☆ シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	
		(測定時間)	min	(10)	(10)	(10)	(10)	
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[—]	[—]	[—]	[—]	
特記事項				1)油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2)標準圧送システムの場合について示す。 3)自動給油は給油されていることを確認すること。				
							6)PY21-10EM 共通	

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

PY60-14/18	PY75(A)-16	PY75B-16 (AB)	PY75(A)-18	PY75A-19(A)	PY75B-19A(B)	PY80-26H	PY21-51
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
60	78(55)	78(55)	78(55)	78(55)	78(55)	80	100(70)
4.7	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	12.3(8.3)	5.4(7.8)
14.3	16	16	18	18.6	18.6	25.7	21.4
89P000001~ 97P*****	97P010001~ 01P*****	01P110001~	97P020001~ 99P*****	00P040001~ 02P*****	02P020001~	98P100001~ 02P*****	83P000001~ 84P*****
検 査 基 準 値							
27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
13.7±1	10.8±1	10.8±1	10.8±1	10.8±1	10.8±1	13.7±1	13.7±1
—	27.4±1	27.4±1	27.4±1	27.4±1	27.4±1	27.5±1	20.6±1
—	—	—	—	—	—	7.8±1	7.8±1
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (2172 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	294±9.8
294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	294±9.8
特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)
85±10	75±10	65±10	75±10	65±10	65±10	165±15	110±10
(360・全旋回) (2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (2172 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(360・全旋回) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (2070 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(360・全旋回) (1400 ⁺⁰ ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
0.5以下	0.5以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]
1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。 4) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5) 締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のホルト全数交換。							
		6) PY75B-16AE M 共通		6) PY75A-19は 7-4(4)伸縮手動			

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PY21-51A	PY21-60	PY21-60A	PY110-25	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	100(70)	100(70)	100(70)	110(75)
			最大吐出圧力	MPa	5.4(7.8)	5.4(7.8)	5.4(7.8)	4.6(6.6)
			アーム最大地上高	m	21.4	29	29	25
適用号機				84P000001~94P*****	84P020001~85P*****	85P000001~85P*****	89P010001~95P*****	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作	圧	ピストンストローク回数	回/min	32±2	32±2	32±2	32±2	
		ロータ回転数	回/min	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1320 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1320 ⁺⁰ ₋₅₀)	日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ 三菱 2172 ⁺⁰ ₋₅₀	
		(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	送	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	38±3	26±3	26±3	38±3
			チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1320 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1320 ⁺⁰ ₋₅₀)	日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ 三菱 2172 ⁺⁰ ₋₅₀
		(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	置	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
			圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
Vベルトのたわみ			mm	—	—	—	—	
業	シリンドラ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
		ブーム (2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
		ブーム (3) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	0.5 以下	
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—	
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1]	
	ブ ム 装 置	☆ ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	60±10	85±10	85±10	85±10
			ブーム (1) 縮み	sec	65±10	60±10	60±10	80±10
			ブーム (2) 伸び	sec	85±10	170±10	170±10	100±10
			ブーム (2) 縮み	sec	85±10	185±10	185±10	125±10
			ブーム (3) 伸び	sec	50±10	105±10	105±10	105±10
			ブーム (3) 縮み	sec	65±10	120±10	120±10	150±10
	(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (°C) [図面No.]	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)		
洗 浄 装 置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力 油圧	MPa	20.6±1	20.6±1	20.6±1	20.6±1	
		吐出圧力 水圧	MPa	5.9	5.9	5.9	5.9	
		吐出圧力 飛距離	m	—	—	—	—	
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—	
	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1937 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (1320 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) 日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ 三菱 2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)		

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

PY115(A)-26(B)	PY100-26-S	PY100-26-SEM	PY100-21H	PY100-26H	PY115-31	PY115-31A	PY120(A)-33(AB)
スイング							
115(80)	105(73)	105(73)	100(55)	100(55)	115(80)	115(80)	124(90)
4.6(6.6)	4.9(7.0)	4.9(7.0)	6.1(11.8)	6.1(11.8)	4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)
25.8	25.8	25.8	20.9	25.8	30.7	30.7	32.6
95P000001~	09P050001~	09P043002~	03P025014~ 03P*****	04P040001~	92P010001~ 95P*****	95P050001~ 97P*****	97P000001~
検 査 基 準 値							
32±2	23±2	23±2	30±2	30±2	32±2	32±2	32±2
—	—	—	—	—	—	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
34±3	32±2	32±2	32±2	32±2	34±3	34±3	34±3
—	—	—	—	—	—	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
0.5 以下							
0.5 以下							
0.5 以下							
0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
—	—	—	—	—	—	—	—
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
[図 No.1]							
65±10	65±10	65±10	56±10	65±10	105±10	105±10	120±15
75±10	75±10	75±10	49±10	75±10	80±10	80±10	105±15
75±10	75±10	75±10	54±10	75±10	80±10	80±10	115±15
70±10	70±10	70±10	99±10	70±10	95±10	95±10	115±15
50±10	50±10	50±10	25±10	50±10	90±10	90±10	110±15
90±10	90±10	90±10	37±10	90±10	115±10	115±10	165±15
30±10	30±10	30±10	—	30±10	65±10	65±10	40±10
40±10	40±10	40±10	—	40±10	90±10	90±10	65±10
—	—	—	—	—	—	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)							
[図 No.3]							
27.5±1	23.5±1	23.5±1	23.5±1	23.5±1	20.6±1	27.5±1	27.5±1
4.9	6.6	6.6	10.5	10.5	5.9	4.9	4.9
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1777 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1585 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)

適用範囲		モデル名		PY21-51A	PY21-60	PY21-60A	PY110-25	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	100(70)	100(70)	100(70)	110(75)
			最大吐出圧力	MPa	5.4(7.8)	5.4(7.8)	5.4(7.8)	4.6(6.6)
		アーム最大地上高	m	21.4	29	29	25	
		適用号機		84P000001~94P*****	84P020001~85P*****	85P000001~85P*****	89P010001~95P*****	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1	
		ブーム油圧	MPa	20.6±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		ACCガス封入圧力	MPa	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1	
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1320 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1320 ⁺⁰ ₋₅₀)	日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀	
		(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	いすゞ三菱2172 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	294±9.8	765±9.8	765±9.8	294±9.8	
		内輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	294±9.8	765±9.8	765±9.8	294±9.8	
		取付ボルトの交換基準	年	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	110±10	205±10	205±10	155±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937)	(1320)	(1320)	日野 日産 1937 ⁺⁰ ₋₅₀ いすゞ三菱2172 ⁺⁰ ₋₅₀	
			(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	☆ シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
		(測定時間)	min	(10)	(10)	(10)	(10)	
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]		
特記事項				1)油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2)標準圧送システムの場合について示す。 3)自動給油は給油されていることを確認すること。 4)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング(外輪又は内輪)のボルト全数交換。				
				6)キャブ上誤作動防止装置作動確認 7)ポンプ回転数パルパ-では1800rpm				
				8)PY21-60HLV 共通				

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

PY115(A)-26(B)	PY100-26-S	PY100-26-SEM	PY100-21H	PY100-26H	PY115-31	PY115-31A	PY120(A)-33(AB)
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
115(80)	105(73)	105(73)	100(55)	100(55)	115(80)	115(80)	124(90)
4.6(6.6)	4.9(7.0)	4.9(7.0)	6.1(11.8)	6.1(11.8)	4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)
25.8	25.8	25.8	20.9	25.8	30.7	30.7	32.6
95P000001~	09P050001~	09P043002~	03P025014~ 03P*****	04P040001~	92P010001~ 95P*****	95P050001~ 97P*****	97P000001~
検 査 基 準 値							
27.5±1	29.4±1	29.4±1	29.4±1	29.4±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
27.5±1	13.5±1	13.5±1	29.4±1	29.4±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±0.5	13.7±0.5	13.7±1	13.7±1	13.7±1
27.4±1	27.5±1	27.5±1	—	—	28.4±1	28.4±1	28.4±1
—	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1	—	—
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)
(1777 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1585 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1585 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1585 ⁺⁰ ₋₅₀)
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	—	—	—
294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	—	—	—
特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	特記 5)	—	—	—
165±15	165±15	165±15	190±10	165±15	120±10	120±10	185±20
(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(370・限定旋回)	(370・限定旋回)	(370・限定旋回)
(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)
(1777 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1585 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1585 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1585 ⁺⁰ ₋₅₀)
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]
1)油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2)標準圧送システムの場合について示す。 3)自動給油は給油されていることを確認すること。 4)シリング耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。							
					7)PY115-31HL V共通		

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PY120(A)-36	PY100-30-S	PT80-10	PT85-10	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	120(85)	105(73)	80(55)	86(55)
			最大吐出圧力	MPa	4.6(6.6)	4.9(7.0)	11.8(8.3)	11.8(7.3)
			ブーム最大地上高	m	35.6	29.8	<ブーム無し>	<ブーム無し>
適用号機				96P010001~04P*****	09P030001~	92P000001~01P*****	07P030001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作 業 装 置	圧 送 装 置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	26±2	23±2	38±2	26±2
			ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
	真空ポンプ	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	34±3	32±2	31±3	32±2
			チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)
	シリンダ 自然降下量	ブーム	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	(—)	(—)	(—)	(—)
			圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	(—)	(—)	(—)	(—)
			Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	洗 浄 装 置	水ポンプ (配管洗浄用)	ブーム(1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	—	—
			ブーム(2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	—	—
			ブーム(3) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	—	—
ブーム(4) シリンダ			mm	0.5 以下	0.5 以下	—	—	
ブーム(5) シリンダ			mm	—	—	—	—	
(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)			(min) [図面No.]	(10) [図 No.1]	(10) [図 No.1]	(—) [—]	(—) [—]	
☆ ブームシリンダ 作動時間		空圧機	ブーム(1) 伸び	sec	125±10	60±15	—	—
			ブーム(1) 縮み	sec	90±10	95±10	—	—
			ブーム(2) 伸び	sec	150±10	65±10	—	—
			ブーム(2) 縮み	sec	120±10	75±10	—	—
			ブーム(3) 伸び	sec	115±10	80±10	—	—
			ブーム(3) 縮み	sec	200±10	95±10	—	—
吐出圧力 油圧 水圧 飛距離	吐出圧力	吐出圧力	MPa	27.5±1	23.5±1	27.5±1	23.5±1	
		吐出圧力	MPa	4.9	6.6	6.5	10.5	
		吐出圧力	m	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(—) (—) (50±10)	(—) (—) (50±10)	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1489 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀) (1670 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1791 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

適用範囲		モデル名		PY120(A)-36	PY100-30-S	PT80-10	PT85-10	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	120(85)	105(73)	80(55)	86(55)
			最大吐出圧力	MPa	4.6(6.6)	4.9(7.0)	11.8(8.3)	11.8(7.3)
アーム最大地上高	m	35.6	29.8	<アーム無し>	<アーム無し>			
適用号機				96P010001~04P*****	09P030001~	92P000001~01P*****	07P030001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.5±1	29.4±1	27.5±1	29.4±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	27.5±1	13.5±1	27.5±1	29.4±1	
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±0.5	
		ブーム油圧	MPa	28.4±1	29.4±1	—	—	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	7.8±1	7.8±1	7.8±1	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1400 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1670 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)			
(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)			
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの締付け	外輪取付ボルトの締付トルク	N・m	—	—	—	—	
		内輪取付ボルトの締付トルク	N・m	—	—	—	—	
		取付ボルトの交換基準	年	—	—	—	—	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	150±10	135±15	—	—	
		(旋回作動角度)	(度)	(370・限定旋回)	(370・限定旋回)	(—)	(—)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(—)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(—)	(—)	
	(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(—)	(—)		
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	
		自然伸縮量	min	(10)	(10)	(10)	(10)	
				[図面No.]	[図 No.2]	[図 No.2]	[—]	[—]
特記事項				1)油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2)標準圧送システムの場合について示す。 3)自動給油は給油されていることを確認すること。				
				4)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PH20-11	PH20-11A	PH10-50, 50A	PH30-11	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	20	20	30	30
			最大吐出圧力	MPa	1.2	1.2	1.8	1.8
			ブーム最大地上高	m	11	11	11	11
適用号機				87P00001~ 91P*****	97P00001~ 98P*****	84P000001~ 90P*****	90P000001~ 97P*****	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—	
		ロータ回転数	回/min	25±1	25±1	30±1	30±1	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2380 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2000 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2080 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
	真空ポンプ	回転速度	min ⁻¹	18±3	18±3	26±3	22±3	
		チェーンのたわみ	mm	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2380 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2000 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2080 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
	シリンダ	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	
		圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	
		Vベルトのたわみ	mm	20・ベルト中央	20・ベルト中央	15~20・ベルト中央	15~20・ベルト中央	
	洗淨装置	水ポンプ (配管洗淨用)	ブーム(1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
			ブーム(2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
			ブーム(3) シリンダ	mm	—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
ブーム(4) シリンダ			mm	—	—	—	—	
ブーム(5) シリンダ			mm	—	—	—	—	
(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)			(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	
空圧機		ブーム(1) 伸び	sec	35±10	35±10	35±10	35±10	
		ブーム(1) 縮み	sec	35±10	35±10	35±10	35±10	
		ブーム(2) 伸び	sec	55±10	40±10	35±10	40±10	
		ブーム(2) 縮み	sec	70±10	35±10	30±10	35±10	
		ブーム(3) 伸び	sec	—	20±10	15±10	20±10	
		ブーム(3) 縮み	sec	—	20±10	20±10	20±10	
☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム(4) 伸び	sec	—	—	—	—		
	ブーム(4) 縮み	sec	—	—	—	—		
	ブーム(5) 伸び	sec	—	—	—	—		
	ブーム(5) 縮み	sec	—	—	—	—		
	(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (°C) [図面No.]	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]		
	吐出圧力	油圧	MPa	—	—	—	—	
水圧		MPa	1.2	1.2	1.8	1.8		
飛距離		m	—	—	—	—		
吐出圧力	吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)		

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

PQ10-10	PH35(AB)-11	PH40-14	PH45(A)-14(A)	PH40-16	PH50-14	PH50-16	PH50(A)-17
スクィーズ	スクィーズ	スクィーズ	スクィーズ	スクィーズ	スクィーズ	スクィーズ	スクィーズ
40	35	40	45(32)特記5)	40	50	50(30)	50(36)
1.8	2.5	1.8	1.8(2.5)	1.8	2.0	1.5(2.5)	1.8(2.5)
<ブーム無し>	11	14	14	16	14	16	17
81P000001~ 95P*****	00P095005~	90P010001~ 93P*****	97P000001~	99P030001~ 98P*****	90P020001~ 93P*****	99P020001~ 99P*****	99P040001~
検 査 基 準 値							
— 40±1	— 28±1 特記5)	— 40±1	— 36±1	— 44±1	— 36±1	— 40±1	— 40±3
(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2380 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2000 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(2050 ⁺⁰ ₋₅₀) (2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀) (1940 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2570 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2160 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)
29±3 20・チェーン中央	30±3 20・チェーン中央	21±3 20・チェーン中央	28±3 20・チェーン中央	25±3 20・チェーン中央	25±3 20・チェーン中央	23±3 20・チェーン中央	30±3 20・チェーン中央
(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2380 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2000 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)	(2050 ⁺⁰ ₋₅₀) (2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀) (1940 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2570 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2160 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) (ジャンで異なる) (50±10)
0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)
0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)
15~20・ハルト中央	(電動モータ駆動)	15~20・ハルト中央	<電動モータ駆動>	(電動モータ駆動)	15~20・ハルト中央	(電動モータ駆動)	(電動モータ駆動)
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
—	—	—	—	—	—	—	0.5 以下
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
[—]	[図 No.1]	[図 No.1]	[図 No.1]	[図 No.1]	[図 No.1]	[図 No.1]	[図 No.1]
—	45±10	40±10	50±10	35±10	38±10	55±10	60±10
—	50±10	35±10	60±10	30±10	30±10	60±10	60±10
—	40±10	35±10	40±10	40±10	40±10	45±10	45±10
—	55±10	35±10	55±10	35±10	40±10	65±10	65±10
—	30±10	50±10	30±10	50±10	50±10	40±10	45±10
—	40±10	55±10	40±10	60±10	55±10	60±10	60±10
—	—	—	—	—	—	—	20±5
—	—	—	—	—	—	—	30±5
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2050 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀)
(—)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
[—]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]
—	—	—	—	—	—	—	—
1.8	2.5	1.8	2.5	1.8	2.0	2.5	2.5
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)

適用範囲		モデル名		PH20-11	PH20-11A	PH10-50, 50A	PH30-11	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	20	20	30	30
			最大吐出圧力	MPa	1.2	1.2	1.8	1.8
適用号機		7 ^ア ーム最大地上高	m	11	11	11	11	
適用号機				87P00001~ 91P*****	97P00001~ 98P*****	84P000001~ 90P*****	90P000001~ 97P*****	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	20.6±1	17.4±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	7.4±1	7.4±1	8.8±1	7.4±1	
		ブーム油圧	MPa	17.2±1	20.6±1	20.6±1	20.6±1	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀)	
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀	いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀	いすゞ2380 ⁺⁰ ₋₅₀	いすゞ2080 ⁺⁰ ₋₅₀			
(作動油温度)	(℃)	三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	三菱2000 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	167±9.8	167±9.8	167±9.8	167±9.8	
		内輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	167±9.8	167±9.8	167±9.8	167±9.8	
		取付ボルトの交換基準	年	特記 4)	特記 4)	特記 4)	特記 4)	
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	100±10	100±10	90±10	100±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1500 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀)	
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀	いすゞ1780 ⁺⁰ ₋₅₀	いすゞ2380 ⁺⁰ ₋₅₀	いすゞ2080 ⁺⁰ ₋₅₀			
(作動油温度)	(℃)	三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	三菱2000 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	三菱1500 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)			
アウトリガー	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	
特記事項				1)ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うのでホークに異常の有無を確認し異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 4)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。				

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

PQ10-10	PH35(AB)-11	PH40-14	PH45(A)-14(A)	PH40-16	PH50-14	PH50-16	PH50(A)-17
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
40	35	40	45(32)特記5)	40	50	50(30)	50(36)
1.8	2.5	1.8	1.8(2.5)	1.8	2.0	1.5(2.5)	1.8(2.5)
<ブーム無し>	11	14	14	16	14	16	17
81P000001~ 95P*****	00P095005~	90P010001~ 93P*****	97P000001~	99P030001~ 98P*****	90P020001~ 93P*****	99P020001~ 99P*****	99P040001~
検 査 基 準 値							
17.2±1	25.0±1	19.6±1	25.0±1	21.1±1	21.1±1	25.0±1	25.0±1
—	—	—	—	—	—	—	—
6.9±1	8.0±1	7.4±1	8.0±1	8.0±1	7.4±1	8.0±1	8.0±1
—	27.5±1	20.6±1	27.1±1	27.1±1	20.6±1	27.1±1	27.1±1
—	—	—	—	—	—	—	—
(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2380 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2000 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(2050 ⁺⁰ ₋₅₀) (2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀) (1940 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) いすゞ2570 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2160 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)
—	167±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
—	167±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
—	特記4)	特記4)	特記4)	特記4)	特記4)	特記4)	特記4)
—	60±10	140±10	60±10	75±10	100±10	75±10	55±10
(—)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)
(—)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1750 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2050 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2160 ⁺⁰ ₋₅₀)
(—)	(シャシで異なる)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(シャシで異なる)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1940 ⁺⁰ ₋₅₀)	いすゞ2570 ⁺⁰ ₋₅₀ 三菱2160 ⁺⁰ ₋₅₀	(シャシで異なる)
(—)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
(—)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[—]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]
1)ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、ホールドに異常の有無を確認して異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。							
	3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 4)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のホルム全数交換。						
5)低圧時ミッション4速、高圧時3速(PQ10-10)	5)オプション仕様はロータ回転数36±1(PH35(A)-11)		5)PH45-14は45(35)				

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PH11-50	PH65-18	PH65-19	PH65-19A(B)	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	55	65(55)	65(55)	65(55)
			最大吐出圧力	MPa	2.0	1.8(2.2)	1.8(2.2)	1.8(2.2)
			ブーム最大地上高	m	16	18	19	19
適用号機				85P000001~92P*****	91P000001~99P*****	99P000001~99P*****	99P050001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作 業 装 置	圧 送 装 置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
			ロータ回転数	回/min	40±1	35±1	35±1	35±1
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1820 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (1860 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	
	真空ポンプ	回転速度	min ⁻¹	28±3	21±3	21±3	21±3	
		チェーンのたわみ	mm	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (1820 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (1860 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	
	シリンダ 自然降下量	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	
		圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	
		Vベルトのたわみ	mm	15~20・ベ*ト中央	<電動モ*駆動>	<電動モ*駆動>	<電動モ*駆動>	
	洗 浄 装 置	☆ ブームシリンダ 作動時間	ブーム(1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
			ブーム(2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
			ブーム(3) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
ブーム(4) シリンダ			mm	—	—	—	0.5 以下	
ブーム(5) シリンダ			mm	—	—	—	—	
(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)			(min) [図面No.]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1]	
水ポンプ (配管洗浄用)		ブーム(1) 伸び	sec	35±10	45±10	55±10	55±10	
		縮み	sec	30±10	60±10	55±10	55±10	
		ブーム(2) 伸び	sec	40±10	45±10	65±10	65±10	
		縮み	sec	35±10	65±10	80±10	80±10	
		ブーム(3) 伸び	sec	50±10	30±10	45±10	45±10	
		縮み	sec	60±10	50±10	55±10	55±10	
空圧機	ブーム(4) 伸び	sec	—	—	—	20±5		
	縮み	sec	—	—	—	30±5		
	ブーム(5) 伸び	sec	—	—	—	—		
	縮み	sec	—	—	—	—		
	(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (°C) [図面No.]	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No. 3]		
	吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	2.0	1.8	2.2	2.2		
	飛距離	m	—	—	—	—		
	吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
空圧機	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)		

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

PQ14-10/11/11A	PH14-52	PH14-60	PH75-25	PH80-26	PH80-26(AB)	PH45A-15	PH55-18
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
70	70	70	75	80(50)	80(70)	45(32)	55(40)
2.5	2.5	2.5	2.5	1.6(2.5)	2.2(2.5)	1.8(2.5)	1.8(2.5)
<ブーム無し>	21.4	29	24.2	26	26	15	18
81P000001~95P*****	81P000001~94P*****	85P010001~95P*****	89P000001~95P*****	95P000001~97P*****	96P000001~08P*****	10P000001~	06P070001~
検 査 基 準 値							
—	—	—	—	—	—	—	—
25±1	25±1	25±1	26±1	31±1 特記5)	28±1	36±1	36±1
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1490 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀) (1840 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (1620 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)
36±3 20・チェーン中央	36±3 20・チェーン中央	41±3 20・チェーン中央	31±3 20・チェーン中央	40±3 20・チェーン中央	40±3 20・チェーン中央	28±3 20・チェーン中央	28±3 20・チェーン中央
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1490 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀) (1840 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (1620 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)
0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)					
0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)					
5~10°ベリ中央	5~10°ベリ中央	5~10°ベリ中央	5~10°ベリ中央	<電動モータ駆動>	<電動モータ駆動>	<電動モータ駆動>	(電動モータ駆動)
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下				
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下				
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下				
—	—	—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) [—]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]
—	60±10	85±10	85±10	45±10	45±10	45±10	65±10
—	65±10	60±10	80±10	60±10	60±10	60±10	65±10
—	85±10	170±10	100±10	60±10	60±10	40±10	65±10
—	85±10	185±10	125±10	70±10	70±10	55±10	75±10
—	50±10	105±10	105±10	45±10	45±10	35±10	45±10
—	65±10	120±10	150±10	95±10	95±10	45±10	60±10
—	—	—	60±10	25± 5	25± 5	20±10	30±10
—	—	—	85±10	40± 5	40± 5	30±10	35±10
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) [—]	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]	(1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10) [図 No.3]
—	—	—	—	—	—	—	—
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)					

適用範囲		モデル名		PH11-50	PH65-18	PH65-19	PH65-19A(B)	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	55	65(55)	65(55)	65(55)
			最大吐出圧力	MPa	2.0	1.8(2.2)	1.8(2.2)	1.8(2.2)
			アーム最大地上高	m	16	18	19	19
適用号機		85P000001~ 92P*****	91P000001~ 99P*****	99P000001~ 99P*****	99P050001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	21.1±1	25.5±1	26.0±1	26.0±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	7.4±1	6.9±1	8.0±1	8.0±1	
		プーム油圧	MPa	20.6±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1820 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1860 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1860 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
車体・安全装置	☆旋回 ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	294±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	
		内輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	294±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	
		取付ボルトの交換基準	年	特記 4)	特記 4)	特記 4)	特記 4)	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	125±10	100±10	75±10	75±10	
(旋回作動角度)		(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1530 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1820 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1860 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1860 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
アウトリガー	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面 No.]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	
特記事項				1)ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので オペレータに異常の有無を確認し異常が無ければ省略する。				
				2)可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態 とする。				
				3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。				
				4)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪 (外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。				
				5)パネルの非常 停止ボタンの 作動確認。 (PH65-18)				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PQ14-10/11/11A	PH14-52	PH14-60	PH75-25	PH80-26	PH80-26(AB)	PH45A-15	PH55-18
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
70	70	70	75	80(50)	80(70)	45(32)	55(40)
2.5	2.5	2.5	2.5	1.6(2.5)	2.2(2.5)	1.8(2.5)	1.8(2.5)
0	21.4	29	24.2	26	26	15	18
81P000001~95P*****	81P000001~94P*****	85P010001~95P*****	89P000001~95P*****	96P000001~97P*****	96P000001~08P*****	10P000001~	06P070001~
検 査 基 準 値							
27.4±1	27.4±1	27.4±1	27.4±1	28.0±0.5	28.0±0.5	25.0±1	25.0±1
—	—	—	—	—	—	—	—
6.9±1	6.9±1	6.9±1	8.8±1	10.8±1	10.8±1	8.0±1	8.0±1
20.6±1	20.6±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
—	—	—	—	—	—	—	—
(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1490 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2100 ⁺⁰ ₋₅₀) (1840 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (1620 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)
—	294±9.8	765±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
—	294±9.8	765±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
—	特記 4)	特記 4)	特記 4)				
—	110±10	205±10	155±10	165±15	165±15	90±10	90±10
(—) (—) (—) (—)	(360・全旋回) (2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (2200 ⁺⁰ ₋₅₀) (1930 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1700 ⁺⁰ ₋₅₀) (1490 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (2100 ⁺⁰ ₋₅₀) (1840 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (1850 ⁺⁰ ₋₅₀) (1620 ⁺⁰ ₋₅₀) (50±10)	(360・全旋回) (2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(360・全旋回) (1890 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下				
(—) [—]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]
1)ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、ホーレットに異常の有無を確認して異常が無ければ省略する。							
2)可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。							
3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。							
4)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。							
		5)キャブ上、誤動作防止装置の点検。(PH14-60)		5)96P04以前は34±1			

極東開発工業

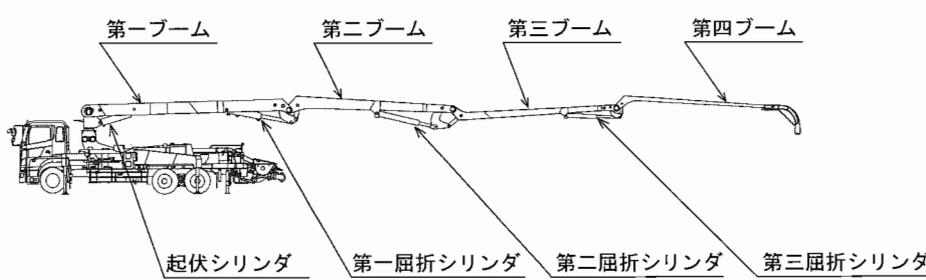
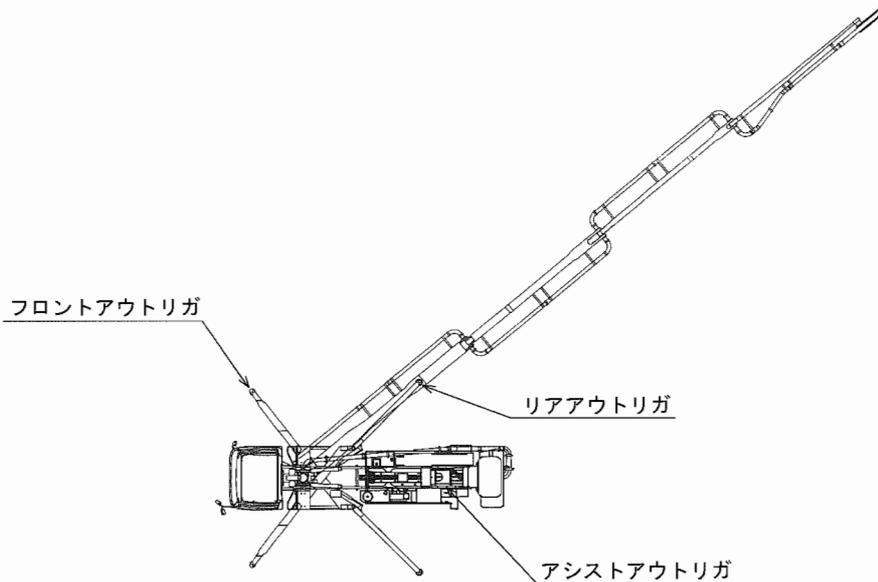
適用範囲		モデル名		PQ45-10	PQ45-11	PH65-19B-T	PH65-26B-T	
		吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	
適用号機		主仕様	最大吐出量	m ³ /h	45(35)	45(32)	65(55)	65(55)
			最大吐出圧力	MPa	1.8(2.5)	1.8(2.5)	1.8(2.5)	1.8(2.5)
			ブーム最大地上高	m	—	—	19	26
			適用号機		97P090001~ 97P*****	06P025006~	07P060001~ 07P*****	07P020001~ 07P*****
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作 業 装 置	圧 送 装 置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—	
		ロータ回転数	回/min	36±1	36±1	35±1	36±1	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1560 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1280 ⁺⁰ ₋₅₀) 07P02:1127 ⁺⁰ ₋₅₀ 上以外:1059 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
	真空ポンプ	回転速度	min ⁻¹	28±3	28±3	21±3	30±3	
		チェーンのたわみ	mm	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1560 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1280 ⁺⁰ ₋₅₀) 07P02:1127 ⁺⁰ ₋₅₀ 上以外:1059 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
	シリンダ	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	0.083 (10分以内)	
		圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	0.007 (60)	
		Vベルトのたわみ	mm	<電動モータ駆動>	<電動モータ駆動>	<電動モータ駆動>	<電動モータ駆動>	
	装 置	☆ ブームシリンダ 作動時間	ブーム(1) シリンダ	mm	—	—	0.5 以下	0.5 以下
			ブーム(2) シリンダ	mm	—	—	0.5 以下	0.5 以下
			ブーム(3) シリンダ	mm	—	—	0.5 以下	0.5 以下
ブーム(4) シリンダ			mm	—	—	0.5 以下	0.5 以下	
ブーム(5) シリンダ			mm	—	—	—	—	
(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)			(min) [図面No.]	(—) (—) [—]	(—) (—) [—]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	
水ポンプ (配管洗浄用)		ブーム(1) 伸び	sec	—	—	55±10	75±10	
		縮み	sec	—	—	55±10	70±10	
		ブーム(2) 伸び	sec	—	—	65±10	90±10	
		縮み	sec	—	—	80±10	80±10	
		ブーム(3) 伸び	sec	—	—	45±10	60±10	
		縮み	sec	—	—	55±10	95±10	
空圧機	ブーム(4) 伸び	sec	—	—	20±5	25±10		
	縮み	sec	—	—	30±5	40±10		
	ブーム(5) 伸び	sec	—	—	—	—		
洗 浄 装 置	吐出圧力	油圧	MPa	—	—	—	—	
		水圧	MPa	2.5	2.5	2.5	2.5	
		飛距離	m	—	—	—	—	
吐出圧力	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)		

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

適用範囲		モデル名		PQ45-10	PQ45-11	PH65-19B-T	PH65-26B-T	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	45(35)	45(32)	65(55)	65(55)
			最大吐出圧力	MPa	1.8(2.5)	1.8(2.5)	1.8(2.5)	1.8(2.5)
			7 [°] m最大地上高	m	—	—	19	26
適用号機		97P090001~ 97P*****	06P025006~	07P060001~ 07P*****	07P020001~ 07P*****			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	25.0±1	25.0±1	27.5±1	27.5±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	8.0±1	8.0±1	8.0±1	10.8±1	
		ブーム油圧	MPa	—	—	27.5±1	27.5±1	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1560 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1280 ⁺⁰ ₋₅₀) 07P02:1127 ⁺⁰ ₋₅₀ 上以外:1059 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)		
車体 ・ 安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	—	—	325.6±9.8	294±9.8	
		内輪取付ボルトの 締付トルク	N・m	—	—	325.6±9.8	294±9.8	
		取付ボルトの交換基準	年	—	—	特記 4)	特記 4)	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	—	—	75±10	175±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(1560 ⁺⁰ ₋₅₀) (シャシで異なる) (50±10)	(1280 ⁺⁰ ₋₅₀) 07P02:1127 ⁺⁰ ₋₅₀ 上以外:1059 ⁺⁰ ₋₅₀ (50±10)	
アウトリガー	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面 No.]	(10) [—]	(10) [—]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	
特記事項				1)ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので ハレットに異常の有無を確認し異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 4)締付トルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪(外輪又は内輪)のボルト全数交換。				

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

極東開発工業

項目	測定方法	計測姿勢
<p>ブームシリンダ 自然降下</p>	<p>アウトリガを最大に張り出し、ブームをまっすぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は先端ホースのみとし、過重は加えない。</p>	<p>図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)</p> 
<p>アウトリガシリンダ 自然降下</p>	<p>ブームを水平に伸ばし、測定対象のアウトリガの真上に置く。アウトリガにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。</p>	<p>図-2 アウトリガシリンダ自然降下計測姿勢</p> 

項目	測定方法	計測姿勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガを最大に張り出し、各ブームシリンダの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する。	<p data-bbox="874 338 1257 405"> 図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照) </p>

シンテック

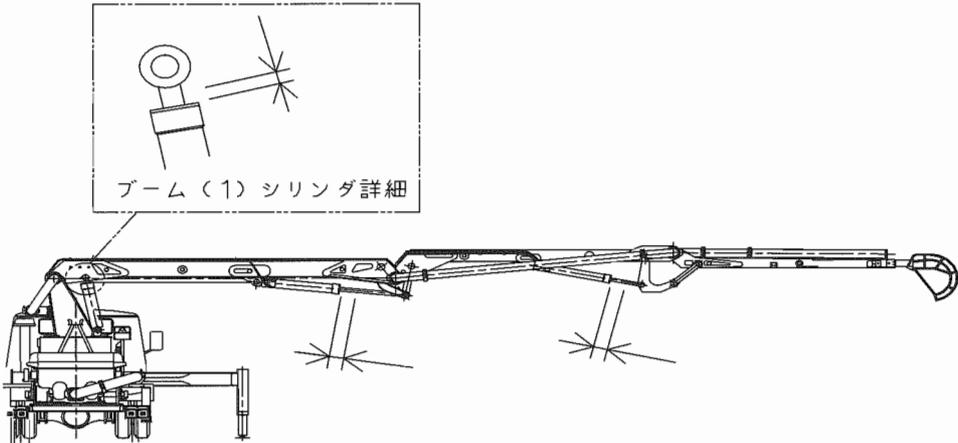
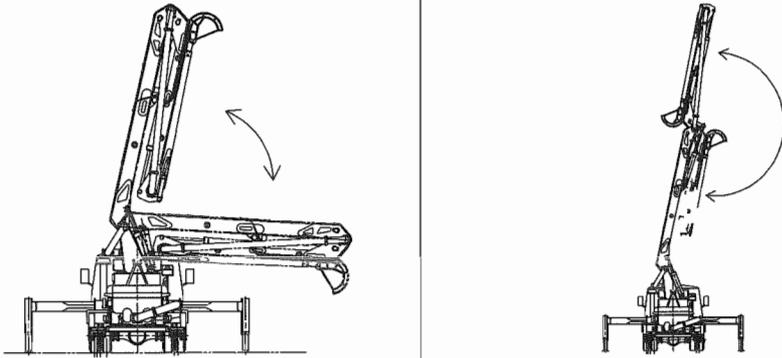
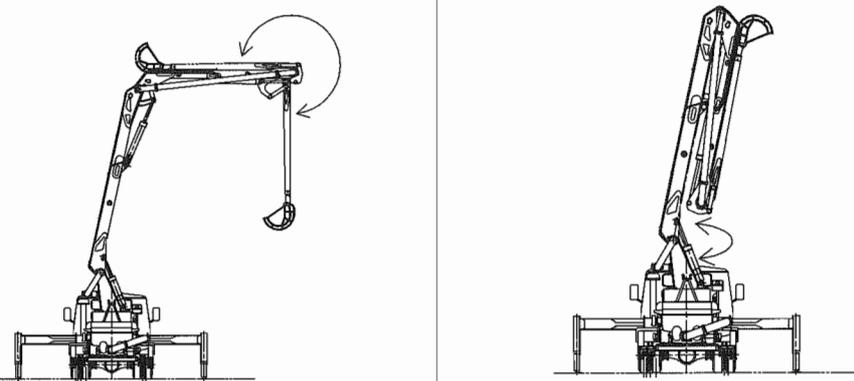
適用範囲		モデル名		MKW-35CB	MKW-35C II	MKW-55CB	MKW-55CM	
		主仕様	吸吐弁型式	—	平行摺動	平行摺動	平行摺動	平行摺動
			最大吐出量	m ³ /h	35	35	55	55
			最大吐出圧力	MPa	4.09	6.13	4.26	4.26
			ブーム最大地上高	m	14	—	16	—
適用号機				001~	001~	001~	001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作 業 装 置	圧 送 装 置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	36±1	36±1	40±1	40±1
			ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1950±50)	(2150±50)	(2000±50)	(2000±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	38±1	39±1	39±1	39±1	
		チェーンのたわみ	mm	10	10	10	10	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1950±50)	(2150±50)	(2000±50)	(2000±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	真空ポンプ	圧力設定値	Pa	—	—	—	—	
		(設定値到達時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)	
圧力降下許容値		Pa	—	—	—	—		
	(保持時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—		
業 装 置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1	1	1	—	
		ブーム (2) シリンダ	mm	1	1	1	—	
		ブーム (3) シリンダ	mm	1	1	1	—	
		ブーム (4) シリンダ	mm	1	1	1	—	
		ブーム (5) シリンダ	mm	1	1	1	—	
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)	
	(作動計測条件)	[無負荷]	[—]	[無負荷]	[—]	[—]		
	(作業装置姿勢)	[図 No. 5]	[図 No. 5]	[図 No. —]	[図 No. 5]	[図 No. —]		
	☆ ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	50±3	—	50±10	—	
		縮み	sec	60±3	—	60±10	—	
		ブーム (2) 伸び	sec	75±3	—	75±10	—	
		縮み	sec	85±3	—	85±10	—	
ブーム (3) 伸び		sec	60±3	—	60±10	—		
縮み		sec	55±3	—	55±10	—		
ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	—			
	縮み	sec	—	—	—	—		
ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—			
	縮み	sec	—	—	—	—		
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1950±50)	(—)	(1200±50)	(—)		
	(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(—)	(50±10)	(—)		
	(作業装置姿勢)	[図面 No.]	[図 No. 1~3]	[図 No. —]	[図 No. 1~3]	[図 No. —]		
洗 浄 装 置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力 油圧	MPa	13.7	—	13.7	—	
		水圧	MPa	4.26	—	4.26	—	
		飛距離	m	10	—	10	—	
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.98	—	0.98	0.98	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1950±50)	(2150±50)	(2000±50)	(2000±50)		
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

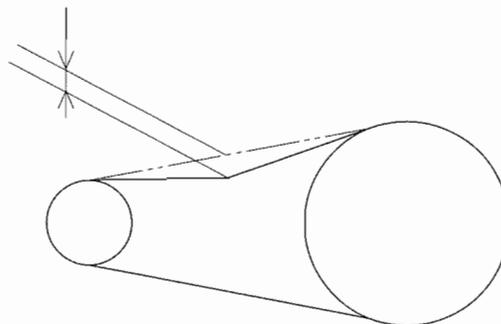
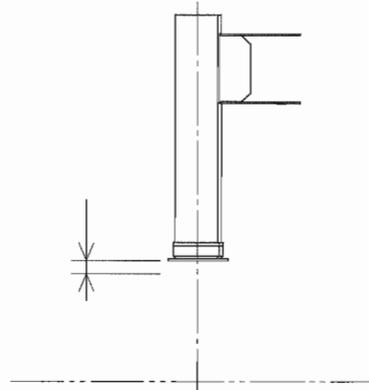
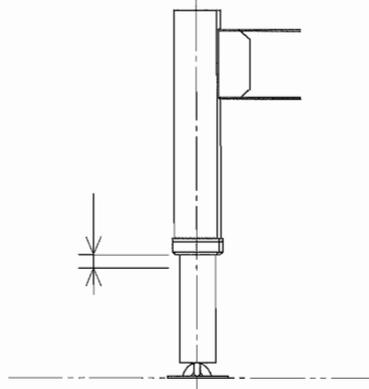
適用範囲		モデル名		MKW-35CB	MKW-35C II	MKW-55CB	MKW-55CM	
		主仕様	吸吐弁型式	—	平行摺動	平行摺動	平行摺動	平行摺動
			最大吐出量	m ³ /h	35	35	55	55
			最大吐出圧力	MPa	4.09	6.13	4.26	4.26
			7°-4最大地上高	m	14	—	16	—
適用号機				001~	001~	001~	001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	24.5	24.5	24.5	24.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	13.7	13.7	13.7	13.7	
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7	13.7	13.7	13.7	
		ブーム油圧	MPa	17.6	—	20.6	20.6	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1200)	(2150)	(2000)	(2000)		
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	450	—	450	—	
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	330	—	450	—	
		旋回ボルトの交換基準	年	注1	—	注1	—	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	40±5		40±5	—	
		(旋回作動角度)	(度)	(90)	(—)	(90)	(—)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1200)	(—)	(2000)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(—)	(50±10)	(—)		
	☆ シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 6]	(10) [図 No. 6]	(10) [図 No. 6]	(10) [図 No. 6]	
特記事項				注1 トルク検査の結果緩み(新車基準トルク以下)、折損脱落がある場合は内輪、外輪とも全数交換してください。				

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

シンテック

項目	測定方法		計測姿勢	
ブームシリンダ 自然降下	ブームはアウトリガーの真上の位置で、ブーム全体を水平に伸ばし10分間での各シリンダの自然伸縮量を測定する。		図-5 ブームシリンダの自然伸縮量測定	
				
ブーム作動時間	No.1シリンダのフルストロークに要する時間を測定。	図 No.1 ブーム(1) 作動速度測定	No.2シリンダのフルストロークに要する時間を測定。	図 No.2 ブーム(2) 作動速度測定
				
				
No.3シリンダのフルストロークに要する時間を測定。		図 No.3 ブーム(3) 作動速度測定	旋回部と固定部にマーキングし旋回に要する時間を測定。	

項目	測定方法	計測姿勢
アウトリガシリンダ 自然伸縮	ブームはアウトリガーの真上の位置で、最大伸長させ10分間にて測定。 (ブームは、最長に伸ばし、アウトリガーの上に位置した状態で測定する)	図 No.6 アウトリガーシリンダ 自然短縮の測定
	ジャッキを最短縮させ3分後を基準とし10分間放置した後の値を測定。	図 No.7 アウトリガーシリンダ 自然伸長の測定
		図 No.8 チェーンたわみ量の測定



大 一 ・ テ ク ノ

適用範囲		モデル名		DCP-35SL	DCP-30G	DCP-30KL	DCP-40G	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	35	30	30	40
			最大吐出圧力	MPa	1.6	1.5	1.5	1.6
			ブーム最大地上高	m	14	14.5	17	14.5
適用号機			41001~	72001~	73001~	82001~		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—	
		ロータ回転数	回/min	34	30	30	37	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	
	真空ポンプ	回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	60±5 (40±5 H22.12~) 15	60±5 15	60±5 15	60±5 15	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	
		圧力設定値 (設定値到達時間) 圧力降下許容値 (保持時間) Vベルトのたわみ	kPa (min) kPa (min) mm	— (—) — (—) —				
	作業装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			ブーム (2) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			ブーム (3) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			ブーム (4) シリンダ	mm	2	—	2	—
			ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
			(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1]
☆ブームシリンダ 作動時間		ブーム (1) 伸び	sec	—	—	—	—	
		ブーム (1) 縮み	sec	—	—	—	—	
		ブーム (2) 伸び	sec	—	—	—	—	
		ブーム (2) 縮み	sec	—	—	—	—	
		ブーム (3) 伸び	sec	—	—	—	—	
		ブーム (3) 縮み	sec	—	—	—	—	
水ポンプ (配管洗浄用) 空圧機	吐出圧力 油圧	MPa	—	—	—	—		
	吐出圧力 水圧	MPa	0.125	0.125	0.125	0.125		
	吐出圧力 飛距離	m	—	—	—	—		
	吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)		
	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)		

DCP-40KL	DCP-40ML	DCP-X40	DCP-X40S	DCP-45ML	DCP-X45	DCP-X45S	DCP-50KL
スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
40	40	40	40	45	45	45	50
1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
17	17	18.5	17	17	18.5	17	17
83001~	84000~	84100~	86001~	32000~	32040~	34501~	90215~
検 査 基 準 値							
—	—	—	—	—	—	—	—
37	37	37	37	38	38	38	38
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
60±5 15	60±5 15	60±5 (40±5 H22.12~) 15	60±5 (40±5 H22.12~) 15	60±5 15	60±5 (40±5 H22.12~) 15	60±5 (40±5 H22.12~) 15	60±5 15
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
2	2	2	2	2	2	2	2
—	—	—	—	—	—	—	—
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No.1, 2]	[図 No.1, 2]	[図 No.1, 2]	[図 No.1, 2]	[図 No.1, 2]	[図 No.1, 2]	[図 No.1, 2]	[図 No.1, 2]
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
—	—	—	—	—	—	—	—
0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)

適用範囲		モデル名		DCP-35SL	DCP-30G	DCP-30KL	DCP-40G	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	35	30	30	40
			最大吐出圧力	MPa	1.6	1.5	1.5	1.6
			アーム最大地上高	m	14	14.5	17	14.5
適用号機				41001～	72001～	73001～	82001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	20	20	20	21	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	7	7	7	7	
		ブーム油圧	MPa	20	18.5	20	18.5	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)		
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付けボルトの 締付トルク	N・m	485.5～534.5	485.5～534.5	485.5～534.5	485.5～534.5	
		内輪取付けボルトの 締付トルク	N・m	343.4～382.6	343.4～382.6	343.4～382.6	343.4～382.6	
		取付ボルトの交換基準	年	注1	注1	注1	注1	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	—	—	—	—	
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	アウトリガー	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1
			(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No.3]			
特記事項				注1) 旋回ベアリング取付けボルトの中で1本でも緩み(新車基準トルク以下)、折損、脱落、がある場合は外輪、内輪とも全数交換する。				

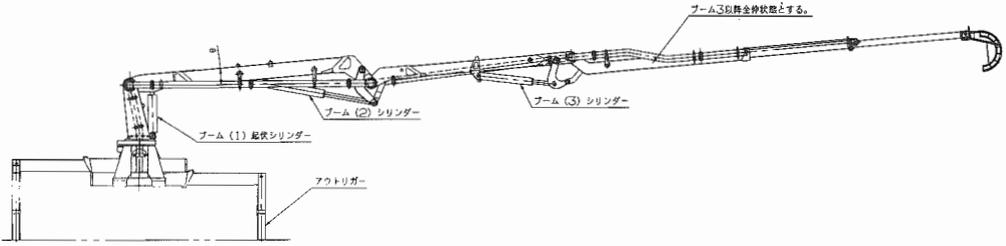
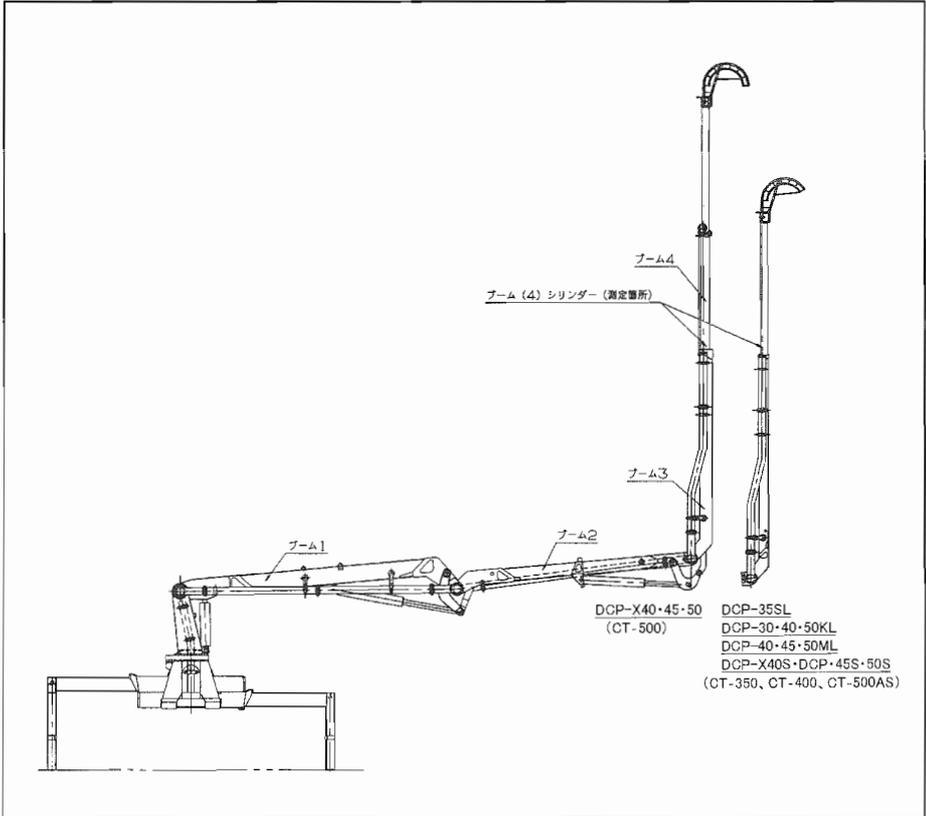
DCP-40KL	DCP-40ML	DCP-X40	DCP-X40S	DCP-45ML	DCP-X45	DCP-X45S	DCP-50KL
スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
40	40	40	40	45	45	45	50
1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
17	17	18.5	17	17	18.5	17	17
83001~	84000~	84100~	86001~	32000~	32040~	34501~	90215~
検 査 基 準 値							
21	21	23	23	24.5	24.5	24.5	20
—	—	—	—	—	—	—	—
7	7	7	7	7	7	7	7
20	20	20	20	20	20	20	20
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
485.5~534.5	485.5~534.5	436~485	436~485	485.5~534.5	436~485	436~485	485.5~534.5
343.4~382.6	343.4~382.6	436~485	436~485	343.4~382.6	436~485	436~485	343.4~382.6
注1	注1	注1	注1	注1	注1	注1	注1
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
1	1	1	1	1	1	1	1
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]
<p>注1) 旋回ベアリング取付ボルトの中で1本でも緩み（新車基準トルク以下）、折損、脱落、がある場合は外輪、内輪とも全数交換する。</p>							

大 一 ・ テ ク ノ

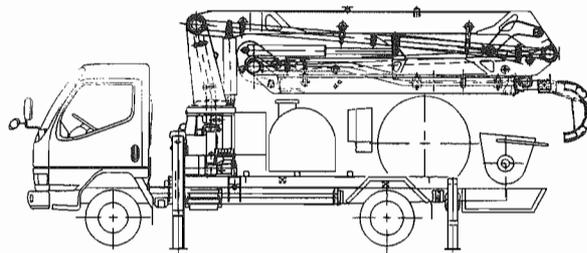
適用範囲		モデル名		DCP-50ML	DCP-X50	DCP-X50S		
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	
			最大吐出量	m ³ /h	50	50	50	
			最大吐出圧力	MPa	1.7	1.7	1.7	
			7°-4最大地上高	m	17	18.5	17	
		適用号機			91000~	91030~	92501~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作 業 装 置	圧 送 装 置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—		
		ロータ回転数	回/min	38	38	38		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)		
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	真空ポンプ	回転速度	min ⁻¹	60±5	60±5	60±5		
		チェーンのたわみ	mm	15	(40±5 H22.12~) 15	(40±5 H22.12~) 15		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)		
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	シリンダ	圧力設定値	kPa	—	—	—		
		(設定値到達時間)	(min)	(—)	(—)	(—)		
圧力降下許容値		kPa	—	—	—			
	(保持時間)	(min)	(—)	(—)	(—)			
	Vベルトのたわみ	mm	—	—	—			
ブ ー ム 装 置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5		
		ブーム (2) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5		
		ブーム (3) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5		
		ブーム (4) シリンダ	mm	2	2	2		
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—		
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)		
		(作動計測条件)		[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]		
		(作業装置姿勢)	[図面 No.]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]		
	☆ ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	—	—	—		
		縮み	sec	—	—	—		
		ブーム (2) 伸び	sec	—	—	—		
		縮み	sec	—	—	—		
ブーム (3) 伸び		sec	—	—	—			
縮み		sec	—	—	—			
ブーム (4) 伸び		sec	—	—	—			
縮み	sec	—	—	—				
	ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—			
	縮み	sec	—	—	—			
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)			
	(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)			
	(作業装置姿勢)	[図面 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]			
洗 浄 装 置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力 油圧	MPa	—	—	—		
		水圧	MPa	0.125	0.125	0.125		
		飛距離	m	—	—	—		
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)		
		(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)		

適用範囲		モデル名		DCP-50ML	DCP-X50	DCP-X50S		
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	
			最大吐出量	m ³ /h	50	50	50	
			最大吐出圧力	MPa	1.7	1.7	1.7	
			7 [°] -M最大地上高	m	17	18.5	17	
適用号機			91000~	91030~	92501~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	20	21	21		
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—		
		かくはんモータ油圧	MPa	7	7	7		
		ブーム油圧	MPa	20	20	20		
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—		
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)		
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付けボルトの 締付トルク	N・m	485.5~534.5	436~485	436~485		
		内輪取付けボルトの 締付トルク	N・m	343.4~382.6	436~485	436~485		
		取付ボルトの交換基準	年	注1	注1	注1		
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	—	—	—		
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(—)		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)		
			(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	
	アウトリガー	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	
			(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No.3]	(10) [図 No.3]	(10) [図 No.3]	
特記事項				注1) 旋回ベアリング取付ボルトの中で1本でも緩み(新車基準トルク以下)、折損、脱落、がある場合は外輪、内輪とも全数交換する。				

大 一 ・ テ ク ノ

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下	(1)測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチエーターの圧抜きを行う。 (2)圧抜きから10分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。 (3)シリンダーロッド縮み量を測定する（ブームシリンダ(4)はブーム縮み量を測定）。 注意：シリンダーロッド（ブーム）にマーカーで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。	図-1 ブームシリンダ(1)～(3)の測定条件 (1)ブームは全伸長とする。 (2)起伏角度が 2° ～ 5° とする。 (3)ブーム方向は車輪後方とする。 (4)油温は $50^{\circ} \pm 5$ とする。
		図-2 ブームシリンダ(4)の測定条件 (1)ブーム 4 は全伸長とする。 (2)ブーム 3 角度を垂直にする。 (3)ブーム方向は車輪後方とする。 (4)油温は $50^{\circ} \pm 5$ とする。
		 <p style="text-align: right;"> DCP-X40・45・50 (CT-500) DCP-35SL DCP-30・40・50KL DCP-40・45・50ML DCP-X40S・DCP-45S・50S (CT-350, CT-400, CT-500AS) </p>

項目	測定方法	計測姿勢
アウトリガシリンダ 自然降下	<p>(1)測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチエーターの圧抜きを行う。</p> <p>(2)圧抜きから5分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。</p> <p>(3)ジャッキシリンダー（縦箱）の縮小量を測定する。</p> <p>注意：シリンダーロッド（縦箱）にマーカーで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。</p>	<p>図-3 アウトリガーシリンダーの測定条件</p> <p>(1)ブームは走行姿勢とする。</p> <p>(2)各アウトリガーを最大に張り出す。</p> <p>(3)作動油温度は $50^{\circ} \pm 5^{\circ}$ とする。</p>



日工ダイヤクリート

適用範囲		モデル名		DC-M700BR	DC-M700BD	DC-M650BD-516	DC-M650BD-418	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準70、高圧45	標準70、高圧45	65	65
			最大吐出圧力	MPa	標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧8.0	4.8	4.8
			ブーム最大地上高	m	16	16	16	18
適用号機				6701～	5801～5808 7B0001～	6501～	6001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	28.5±1.0	28.5±1.0	29.0±1.0	29.0±1.0	
		ロータ回転数	回/min	-	-	-	-	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1550±50) (2300±50) (50±5)	(1550±50) (2300±50) (50±5)	(2050±50) (2170±50) (50±5)	(2050±50) (2170±50) (50±5)	
	真空ポンプ	回転速度	min ⁻¹	40±2	40±2	40±2	40±2	
		チェーンのたわみ	mm	-	-	-	-	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1550±50) (2000±50) (50±5)	(1550±50) (2300±50) (50±5)	(2170±50) (2170±50) (50±5)	(2170±50) (2170±50) (50±5)	
	シリンダ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
		Vベルトのたわみ	mm	-	-	-	-	
	洗淨装置	水ポンプ (配管洗淨用)	ブーム(1) シリンダ	mm	2	2	2	2
			ブーム(2) シリンダ	mm	2	2	2	2
			ブーム(3) シリンダ	mm	2	2	2	2
ブーム(4) シリンダ			mm	-	-	-	-	
ブーム(5) シリンダ			mm	-	-	-	-	
(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)			(min) [-] [図面No.]	(10) [-] [図 No.1]	(10) [-] [図 No.1]	(10) [-] [図 No.1]	(10) [-] [図 No.1]	
☆ブームシリンダ 作動時間		ブーム(1) 伸び	sec	20±5/90°	20±5/90°	21±5/90°	21±5/90°	
		ブーム(1) 縮み	sec	43±5/90°	43±5/90°	50±5/90°	50±5/90°	
		ブーム(2) 伸び	sec	43±5/180°	43±5/180°	50±5/180°	50±5/180°	
		ブーム(2) 縮み	sec	45±5/180°	45±5/180°	55±5/180°	55±5/180°	
		ブーム(3) 伸び	sec	30±5/265°	30±5/265°	40±5/246°	40±5/246°	
		ブーム(3) 縮み	sec	60±5/265°	60±5/265°	75±5/246°	75±5/246°	
空圧機	ブーム(4) 伸び	sec	-	-	-	-		
	ブーム(4) 縮み	sec	-	-	-	-		
	ブーム(5) 伸び	sec	-	-	-	-		
	ブーム(5) 縮み	sec	-	-	-	-		
	(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (°C) [図面No.]	(1550±50) (50±5) [図 No.3]	(1550±50) (50±5) [図 No.3]	(2170±50) (50±5) [図 No.3]	(2170±50) (50±5) [図 No.3]		
	吐出圧力	MPa	0.98±0.25	0.98±0.25	-	-		
吐出圧力	油圧	MPa	23.5	23.5	31.3	31.3		
	水圧	MPa	標準4.8、高圧7.9	標準4.8、高圧7.9	4.8	4.8		
	飛距離	m	-	-	-	-		
吐出圧力	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(-) (-) (-)	(-) (-) (-)	(-) (-) (-)	(-) (-) (-)		

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

DC-A1000BS	DC-A1000BR	DC-A1000BD	DC-SL1000BS	DC-SL1000BR	DC-SL1000BD	DC-SL1100BD-M26(φ215)	DC-SL1100BD-M26(φ205)
板弁	スイングバルブ	スイングバルブ	板弁	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ
標準100、高圧60 標準4.9、高圧8.0	標準100、高圧60 標準4.9、高圧8.0	標準100、高圧60 標準4.9、高圧8.0	標準100、高圧65 標準4.9、高圧7.5	標準100、高圧65 標準4.9、高圧7.5	標準100、高圧65 標準4.9、高圧7.5	標準107、高圧74 標準5.4、高圧8.2	標準97、高圧68 標準5.4、高圧8.2
21	21	21	24.6	24.6	24.6	25.9	25.9
12050~	10501~	14001~	30001~	31001~	32001~	33001~33096 26D001~	33001~33096 26D001~
検 査 基 準 値							
32.0±1.0	32.0±1.0	32.0±1.0	26.0±1.0	26.0±1.0	26.0±1.0	27.0±1.0	27.0±1.0
(1800±50) (2000±50) (50±5)							
39±2 —	39±2 —	39±2 —	38±2 —	38±2 —	38±2 —	45±2 —	45±2 —
(1800±50) (2000±50) (50±5)							
— (—)							
— (—)							
—	—	—	—	—	—	—	—
2 2 2 — —							
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
32±5/90° 60±5/90°	32±5/90° 60±5/90°	32±5/90° 60±5/90°	63±5/90° 60±5/90°	63±5/90° 60±5/90°	63±5/90° 60±5/90°	48±5/90° 71±5/90°	48±5/90° 71±5/90°
75±5/210° 75±5/210°	75±5/210° 75±5/210°	75±5/210° 75±5/210°	75±5/180° 75±5/180°	75±5/180° 75±5/180°	75±5/180° 75±5/180°	103±5/180° 81±5/180°	103±5/180° 81±5/180°
43±5/270° 86±5/270°	43±5/270° 86±5/270°	43±5/270° 86±5/270°	47±5/270° 86±5/270°	47±5/270° 86±5/270°	47±5/270° 86±5/270°	65±5/270° 88±5/270°	65±5/270° 88±5/270°
— —	— —	— —	— —	— —	— —	29±5/220° 63±5/220°	29±5/220° 63±5/220°
— —							
(1800±50) (50±5) [図 No. 3]							
23.5 標準4.8、高圧7.9 —	23.5 標準4.8、高圧7.9 —	23.5 標準4.8、高圧7.9 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	31.4 標準5.0、高圧7.6 —	28.4 標準5.0、高圧7.6 —
0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25
(—) (—) (—)							

適用範囲		モデル名		DC-M700BR	DC-M700BD	DC-M650BD-516	DC-M650BD-418	
		主仕様	吸吐弁型式	—	シングルバルブ	シングルバルブ	シングルバルブ	シングルバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準70、高圧45	標準70、高圧45	65	65
			最大吐出圧力	MPa	標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧8.0	4.8	4.8
		7 [°] -A最大地上高	m	16	16	18	18	
		適用号機		6701～	5801～5808 7B0001～	6501～	6001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	24.0±0.5	24.0±0.5	32.0±0.5	32.0±0.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	24.0±0.5	24.0±0.5	32.0±0.5	32.0±0.5	
		かくはんモータ油圧	MPa	15.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	
		ブーム油圧	MPa	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1550±50)	(2170±50)	(2170±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)	(2000±50)	(2170±50)	(2170±50)	
		(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	258.7	258.7	258.7	258.7	
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	258.7	258.7	258.7	258.7	
		取付けボルトの交換基準	年	注1	注1	注1	注1	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	
		(旋回作動角度)	(度)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1550±50)	(2170±50)	(2170±50)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)	(2000±50)	(2170±50)	(2170±50)		
	(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)		
アウトリガ	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	2	2	2	2	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min ⁻¹ [図面No.]	15 [図 No.2]	15 [図 No.2]	15 [図 No.2]	15 [図 No.2]	
特記事項				注1： 旋回ベアリング取付けボルトの中で1本でも緩み（新車基準トルク以下）、折損、脱落、がある場合は外輪、内輪とも全数交換する。				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

DC-A1000BS	DC-A1000BR	DC-A1000BD	DC-SL1000BS	DC-SL1000BR	DC-SL1000BD	DC-SL1100BD-M26(ϕ 215)	DC-SL1100BD-M26(ϕ 205)
板 弁	シングルバルブ	シングルバルブ	板 弁	シングルバルブ	シングルバルブ	シングルバルブ	シングルバルブ
標準100、高圧60	標準100、高圧60	標準100、高圧60	標準100、高圧65	標準100、高圧65	標準100、高圧65	標準107、高圧74	標準97、高圧68
標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5	標準5.4、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2
21	21	21	24.6	24.6	24.6	25.9	25.9
12050～	10501～	14001～	30001～	31001～	32001～	33001～33096 26D001～	33001～33096 26D001～
検 査 基 準 値							
24.0±0.5	24.0±0.5	24.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	31.4±0.5	28.4±0.5
24.0±0.5	24.0±0.5	24.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	31.4±0.5	28.4±0.5
15.2±0.5	15.2±0.5	15.2±0.5	15.2±0.5	15.2±0.5	15.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5
27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5
-	-	-	-	-	-	-	-
(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)
(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)
(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
258.7	258.7	258.7	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9
258.7	258.7	258.7	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9
注1	注1	注1	注1	注1	注1	注1	注1
27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	46±2.5/90°	46±2.5/90°
(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)
(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)
(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)
(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
2	2	2	2	2	2	2	2
15	15	15	15	15	15	15	15
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
<p>注1： 旋回ベアリング取付ボルトの中で1本でも緩み（新車基準トルク以下）、折損、脱落、がある場合は外輪、内輪とも全数交換する。</p>							

日工ダイヤクリート

適用範囲		モデル名		DC-SL1100BM-M26			
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ		
最大吐出量	m ³ /h		標準97、高圧68				
最大吐出圧力	MPa		標準5.4、高圧8.2				
7 [°] m最大地上高	m		25.9				
		適用号機		34001~34006 26M001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位				
作 業 装 置	圧 送 装 置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	27.0±1.0		
			ロータ回転数	回/min			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800±50)			
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)			
		(作動油温度)	(°C)	(50±5)			
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	45±2			
		チェーンのたわみ	mm	—			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800±50)			
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)			
		(作動油温度)	(°C)	(50±5)			
	真空ポンプ	圧力設定値	kPa	—			
		(設定値到達時間)	(min)	(—)			
圧力降下許容値		kPa	—				
	(保持時間)	(min)	(—)				
	Vベルトのたわみ	mm	—				
ブ ー ム 装 置	シリンダ 自然降下量	ブーム(1)シリンダ	mm	2			
		ブーム(2)シリンダ	mm	2			
		ブーム(3)シリンダ	mm	2			
		ブーム(4)シリンダ	mm	—			
		ブーム(5)シリンダ	mm	—			
		(測定時間)	(min)	(10)			
		(作動計測条件)		[—]			
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1]			
	☆ ブームシリンダ 作動時間	ブーム(1)伸び	sec	54±5/90°			
		縮み	sec	71±5/90°			
		ブーム(2)伸び	sec	80±5/180°			
		縮み	sec	81±5/180°			
ブーム(3)伸び		sec	65±5/270°				
縮み		sec	88±5/270°				
ブーム(4)伸び	sec	29±5/220°					
縮み	sec	63±5/220°					
	ブーム(5)伸び	sec	—				
	縮み	sec	—				
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800±50)				
	(作動油温度)	(°C)	(50±5)				
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 3]				
洗 浄 装 置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	28.4			
		油圧水圧 飛距離	MPa m	標準5.0、高圧7.6 —			
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.98±0.25			
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)				
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)				
	(作動油温度)	(°C)	(—)				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

適用範囲		モデル名		DC-SL1100BM-M26			
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ		
最大吐出量	m ³ /h		標準97、高圧68				
最大吐出圧力	MPa		標準5.4、高圧8.2				
7°- Δ 最大地上高	m		25.9				
		適用号機		34001~34006 26M001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	28.4±0.5			
		弁シリンダ油圧	MPa	28.4±0.5			
		かくはんモータ油圧	MPa	16.2±0.5			
		ブーム油圧	MPa	27.4±0.5			
		ACCガス封入圧力	MPa	-			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800±50)			
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)					
(作動油温度)	(°C)	(50±5)					
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	495.9			
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	495.9			
		取付けボルトの交換基準	年	注1			
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	46±2.5/90°			
		(旋回作動角度)	(度)	(360全旋回)			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800±50)			
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)					
(作動油温度)	(°C)	(50±5)					
アウトリガー	シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	2			
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min ⁻¹ [図面No.]	15 [図 No. 2]			
特記事項				注1： 旋回ベアリング取付けボルトの中で1本でも緩み（新車基準トルク以下）、折損、脱落、がある場合は外輪、内輪とも全数交換する。			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

日工ダイヤクリート

適用範囲		モデル名		DC-SL1100BDH-M26	DC-L1000BS	DC-L1000BR	DC-L1000BD	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ	板弁	スイングバルブ	スイングバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準80、高圧52	標準100、高圧60	標準100、高圧60	標準100、高圧60
			最大吐出圧力	MPa	標準7.0、高圧11.8	標準4.4、高圧7.4	標準4.4、高圧7.4	標準4.4、高圧7.4
			ブーム最大地上高	m	25.9	30.6	30.6	30.6
適用号機				35001~	20001~	21001~	22001~22090	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	27.0±1.0	26.0±1.0	26.0±1.0	26.0±1.0
			ロータ回転数	回/min				
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1830±50)	(1850±50)	(1850±50)	(1850±50)	
		(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	
	真空ポンプ	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	41±2	42±2	42±2	42±2
			チェーンのたわみ		-	-	-	-
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1830±50)	(1850±50)	(1850±50)	(1850±50)	
		(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	
	ブーム装置	シリンダ自然降下量	圧力設定値	kPa	-	-	-	-
			(設定値到達時間)	(min)	(-)	(-)	(-)	(-)
圧力降下許容値			kPa	-	-	-	-	
(保持時間)			(min)	(-)	(-)	(-)	(-)	
Vベルトのたわみ			mm	-	-	-	-	
ブーム装置	☆ブームシリンダ作動時間	ブーム(1) シリンダ	mm	2	2	2	2	
		ブーム(2) シリンダ	mm	2	2	2	2	
		ブーム(3) シリンダ	mm	2	2	2	2	
		ブーム(4) シリンダ	mm	2	-	-	-	
		ブーム(5) シリンダ	mm	-	-	-	-	
	(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)		
	(作動計測条件)		[-]	[-]	[-]	[-]		
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.1]	[図 No.1]	[図 No.1]	[図 No.1]		
	洗浄装置	水ポンプ(配管洗浄用)	ブーム(1) 伸び	sec	54±5/90°	58±5/90°	58±5/90°	58±5/90°
			ブーム(1) 縮み	sec	71±5/90°	92±5/90°	92±5/90°	92±5/90°
ブーム(2) 伸び			sec	80±5/180°	130±5/180°	130±5/180°	130±5/180°	
ブーム(2) 縮み			sec	81±5/180°	100±5/180°	100±5/180°	100±5/180°	
ブーム(3) 伸び			sec	65±5/270°	75±5/270°	75±5/270°	75±5/270°	
ブーム(3) 縮み			sec	88±5/270°	100±5/270°	100±5/270°	100±5/270°	
空圧機	吐出圧力	ブーム(4) 伸び	sec	29±5/220°	-	-	-	
		ブーム(4) 縮み	sec	63±5/220°	-	-	-	
		ブーム(5) 伸び	sec	-	-	-	-	
		ブーム(5) 縮み	sec	-	-	-	-	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)		
	(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)		
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]	[図 No.3]		
空圧機	吐出圧力	吐出圧力 油圧	MPa	26	26	26	26	
		吐出圧力 水圧	MPa	標準7.1、高圧11.7	標準4.6、高圧7.8	標準4.6、高圧7.8	標準4.6、高圧7.8	
		吐出圧力 飛距離	m	-	-	-	-	
	吐出圧力	MPa	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25		
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(-)	(-)	(-)			
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(-)	(-)	(-)			
	(作動油温度)	(°C)	(-)	(-)	(-)			

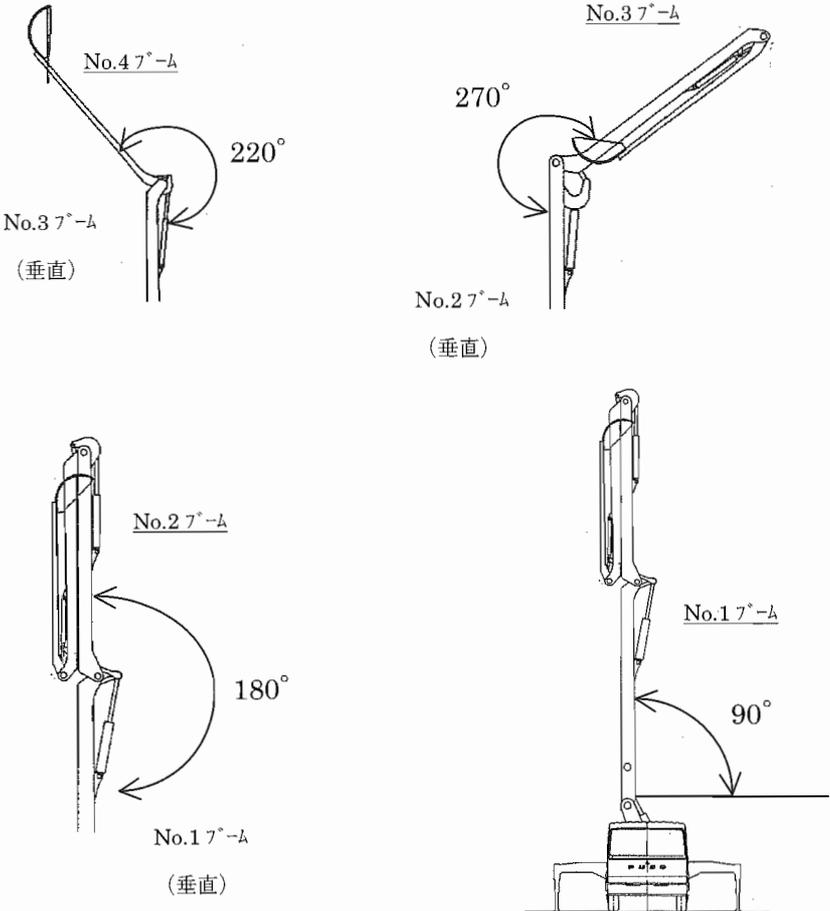
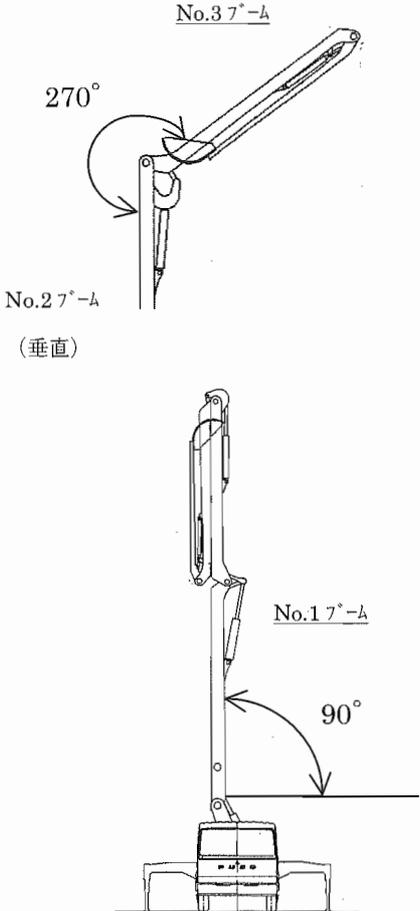
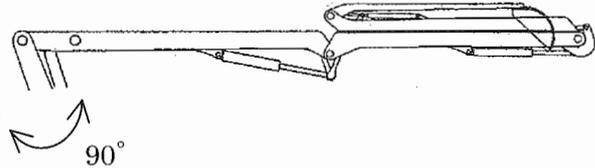
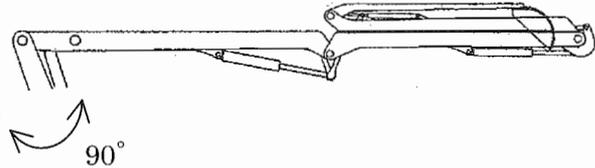
☆印：新車基準値を表す(参考値)。

DC-L1000BD	DC-L1100BD-M33	DC-L1100BD-M33(φ215)	DC-L1100BD-M33(φ205)	DC-L1100BM-M33	DC-L1100BM-M33	DC-SL1400BDH-M28(φ215)	DC-SL1400BDH-M28(φ205)
スイングバルブ							
標準100、高圧60 標準4.9、高圧7.5	標準107、高圧69 標準4.9、高圧7.5	標準107、高圧74 標準5.4、高圧8.2	標準97、高圧68 標準5.4、高圧8.2	標準107、高圧69 標準4.9、高圧7.5	標準97、高圧68 標準5.4、高圧8.2	標準135、高圧86 標準8.5、高圧14.5	標準122、高圧75 標準9.4、高圧16.0
30.6	32.6	32.6	32.6	32.6	32.6	27.9	27.9
22091~	40006~40091	40092~40102 33D001~	40092~40102 33D001~	42001~42004	42005~42008 33M001~	28H001~	28H001~
検 査 基 準 値							
26.0±1.0	27.0±1.0	27.0±1.0	27.0±1.0	27.0±1.0	27.0±1.0	28.0±1.0	28.0±1.0
(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1900±50) (2100±50) (50±5)	(1900±50) (2100±50) (50±5)
42±2 —	42±2 —	42±2 —	42±2 —	45±3 —	45±3 —	45±3 —	45±3 —
(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1900±50) (2100±50) (50±5)	(1900±50) (2100±50) (50±5)
— (—)							
— (—)							
—	—	—	—	—	—	—	—
2 2 2 — —	2 2 2 2 —						
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
58±5/90° 92±5/90°	62±5/90° 98±5/90°	65±5/90° 92±5/90°	65±5/90° 92±5/90°	65±5/90° 92±5/90°	65±5/90° 92±5/90°	57±5/90° 75±5/90°	57±5/90° 75±5/90°
130±5/180° 100±5/180°	140±5/180° 110±5/180°	110±5/180° 110±5/180°	110±5/180° 110±5/180°	110±5/180° 110±5/180°	110±5/180° 110±5/180°	85±5/180° 90±5/180°	85±5/180° 90±5/180°
75±5/270° 100±5/270°	85±5/270° 115±5/270°	85±5/270° 115±5/270°	85±5/270° 115±5/270°	85±5/270° 115±5/270°	85±5/270° 115±5/270°	70±5/270° 95±5/270°	70±5/270° 95±5/270°
— —	35±5/220° 75±5/220°	35±5/220° 75±5/220°	35±5/220° 75±5/220°	35±5/220° 75±5/220°	35±5/220° 75±5/220°	32±5/220° 70±5/220°	32±5/220° 70±5/220°
— —							
(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1900±50) (50±5) [図 No. 3]	(1900±50) (50±5) [図 No. 3]					
26 標準4.6、高圧7.1 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	31.4 標準5.0、高圧7.6 —	28.4 標準5.0、高圧7.6 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	28.4 標準5.0、高圧7.6 —	34.3 標準7.8、 高圧13.2	34.3 標準8.7、 高圧14.8
0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25
(—) (—) (—)							

適用範囲		モデル名		DC-SL1100BDH-M26	DC-L1000BS	DC-L1000BR	DC-L1000BD	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ	板弁	スイングバルブ	スイングバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準80、高圧52	標準100、高圧60	標準100、高圧60	標準100、高圧60
			最大吐出圧力	MPa	標準7.0、高圧11.8	標準4.4、高圧7.4	標準4.4、高圧7.4	標準4.4、高圧7.4
			7 [°] -M最大地上高	m	25.9	30.6	30.6	30.6
適用号機				35001～	20001～	21001～	22001～22090	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	
		かくはんモータ油圧	MPa	16.2±0.5	15.2±0.5	15.2±0.5	15.2±0.5	
		ブーム油圧	MPa	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	
		ACCガス封入圧力	MPa	-	-	-	-	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)		
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1830±50)	(1850±50)	(1850±50)	(1850±50)		
(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)			
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの 締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	495.9	495.9	495.9	495.9	
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	495.9	495.9	495.9	495.9	
		取付けボルトの交換周期	年	注1	注1	注1	注1	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	46±2.5/90°	42.5 ^{+2.5} / _{-4.5} 90°	42.5 ^{+2.5} / _{-4.5} 90°	42.5 ^{+2.5} / _{-4.5} 90°	
		(旋回作動角度)	(度)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1830±50)	(1850±50)	(1850±50)	(1850±50)	
	(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)		
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	2	2	2	2	
		自然伸縮量	(測定時間) (作業装置姿勢)	min ⁻¹ [図面No.]	15 [図No.2]	15 [図No.2]	15 [図No.2]	15 [図No.2]
特記事項				注1： 旋回ベアリング取付けボルトの中で1本でも緩み（新車基準トルク以下）、折損、脱落、がある場合は外輪、内輪とも全数交換する。				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

DC-L1000BD	DC-L1100BD-M33	DC-L1100BD-M33(ϕ 215)	DC-L1100BD-M33(ϕ 205)	DC-L1100BM-M33	DC-L1100BM-M33	DC-SL1400BDH-M28(ϕ 215)	DC-SL1400BDH-M28(ϕ 205)
スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ
標準100、高圧60	標準107、高圧69	標準107、高圧74	標準97、高圧68	標準107、高圧69	標準97、高圧68	標準135、高圧86	標準122、高圧75
標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5	標準5.4、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2	標準4.9、高圧7.5	標準5.4、高圧8.2	標準8.5、高圧14.5	標準9.4、高圧16.0
30.6	32.6	32.6	32.6	32.6	32.6	27.9	27.9
22091~	40006~40091	40092~40102 33D001~	40092~40102 33D001~	42001~42004	42005~42008 33M001~	28H001~	28H001~
検 査 基 準 値							
26.0±0.5	26.0±0.5	31.4±0.5	28.4±0.5	28.4±0.5	28.4±0.5	34.3±0.5	34.3±0.5
26.0±0.5	26.0±0.5	31.4±0.5	28.4±0.5	28.4±0.5	28.4±0.5	34.3±0.5	34.3±0.5
16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5
27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5
-	-	-	-	-	-	-	-
(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1900±50)	(1900±50)
(2000±50)	(2000±50)	(1900±50)	(1900±50)	(1900±50)	(1900±50)	(2100±50)	(2100±50)
(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
495.9	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9
495.9	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9
注1	注1	注1	注1	注1	注1	注1	注1
42.5 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°	45 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°	60 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°	50 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°	50 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°			
(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)
(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)
(2000±50)	(2000±50)	(1900±50)	(1900±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)
(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
2	2	2	2	2	2	2	2
15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]
<p>注1： 旋回ベアリング取付ボルトの中で1本でも緩み（新車基準トルク以下）、折損、脱落、がある場合は外輪、内輪とも全数交換する。</p>							

項目	測定方法	計測姿勢
ブーム作動速度	<p>各シリンダを下図の姿勢で、それぞれの角度を作動する時間を計測する。</p> 	<p>図-3 ブーム作動時間計測姿勢</p> 
旋回作動速度	<p>ブームを下図の姿勢にして90°旋回時の作動時間を計測する。</p> 	<p>図-4 旋回作動速度計測姿勢</p> 

プツマイスタージャパン

適用範囲		モデル名		BSF2107HP	BSF2107HP	BSF28.16H	BSF36.15H	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³	69(47)	69(47)	160(108)	150
			最大吐出圧力	MPa	15(22)	15(22)	8.5(13)	8.5
			7°-M最大地上高	m	—	—	28	36
		適用号機		21970105302~	2199010305~	210101006~	2197010001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	18	18	30	28	
		ロータ回転数	回/min	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2800) (1900±50) (50±10)	(2670) (1800±50) (50±10)	(2600) (1760±50) (50±10)	(2600) (1750±50) (50±10)	
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	42±1	40±1	39±1	40±1	
		チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2800) (1900±50) (50±10)	(2670) (1800±50) (50±10)	(2600) (1760±50) (50±10)	(2600) (1750±50) (50±10)	
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—	
	作業装置	シリンダ 自然降下量	ブーム(1) シリンダ	mm	—	—	1.5 以下	1.5以下
			ブーム(2) シリンダ	mm	—	—	1.5 以下	1.5以下
			ブーム(3) シリンダ	mm	—	—	1.5 以下	1.5以下
ブーム(4) シリンダ			mm	—	—	1.5 以下	1.5以下	
ブーム(5) シリンダ			mm	—	—	—	—	
(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)			(min) [図面No.]	(—) (—)	(—) (—)	(10) [図 No.1]	(10) [図 No.1]	
☆ブームシリンダ 作動時間 (注-1)		ブーム(1) 伸び	sec	—	—	63±10	70±10	
		ブーム(1) 縮み	sec	—	—	66±10	95±10	
		ブーム(2) 伸び	sec	—	—	94±10	95±10	
		ブーム(2) 縮み	sec	—	—	95±10	95±10	
		ブーム(3) 伸び	sec	—	—	69±10	65±10	
		ブーム(3) 縮み	sec	—	—	70±10	45±10	
☆ブームシリンダ 作動時間 (注-1)	ブーム(4) 伸び	sec	—	—	36±10	45±10		
	ブーム(4) 縮み	sec	—	—	36±10	30±10		
	ブーム(5) 伸び	sec	—	—	—	—		
	ブーム(5) 縮み	sec	—	—	—	—		
	(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (°C) [図面No.]	(—) (—)	(—) (—)	(2600) (50±10) [図 No.2]	(2600) (50±10) [図 No.2]		
	洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力 油圧	MPa	—	—	—	—
吐出圧力 水圧			MPa	—	—	—	—	
吐出圧力 飛距離			m	—	—	—	—	
空圧機		吐出圧力	MPa	—	0.7	0.7	—	
	(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(—) (—) (—)	(2670) (1800±50) (50±10)	(2600) (1760±50) (50±10)	(—) (—) (—)		

☆印：新車基準値を表す(参考値)。 注-1：高速モード

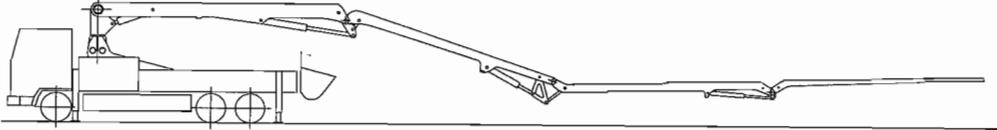
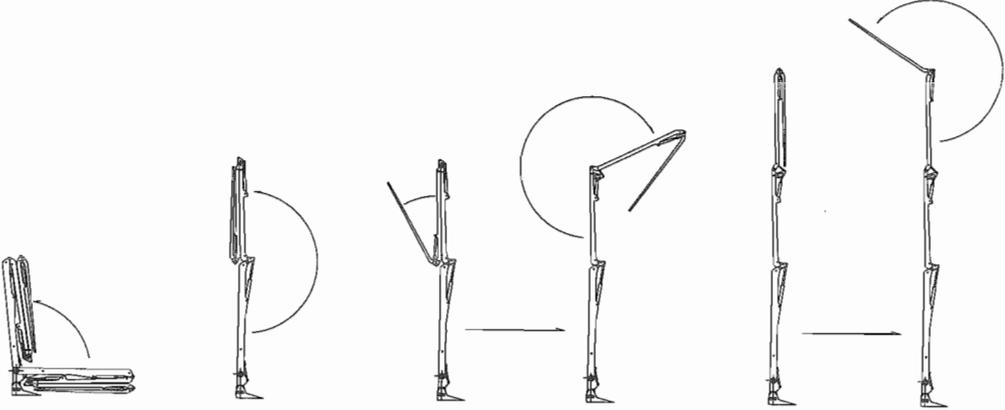
BSF36.15H	BSF36.15H	BSF36.16H	BSF42.16H	BSF46.16H	BSF52.15H	BSF52.16H	BSF20.07H
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
150	150	160	160	160	150	160	75(100)
8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5(5.7)
36(巻込式)	36(Z式)	36(Z式)	42	46	52	52	20
210100341~	210100936~	210101172~	2199010326~	210102285~	2195010001~	210101985~	210103197~
検 査 基 準 値							
28	28	30	30	30	28	30	28
—	—	—	—	—	—	—	—
(2750) (1500±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2595) (1710±50) (50±10)	(2665) (1800±50) (50±10)	(2600) (1750±50) (50±10)	(2680) (1800±50) (50±10)	(2490) (2000±50) (50±10)
41±1	40±1	40±1	39±1	40±1	40±1	40±1	37±1
—	—	—	—	—	—	—	—
(2750) (1500±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2595) (1710±50) (50±10)	(2665) (1800±50) (50±10)	(2600) (1750±50) (50±10)	(2680) (1800±50) (50±10)	(2490) (2000±50) (50±10)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下	1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下						
(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.-]	(10) (—) [図 No.-]	(10) (—) [図 No.-]	(10) (—) [図 No.-]
70±10 71±10	78±10 81±10	82±10 82±10	87±10 97±10	89±10 95±10	103±10 110±10	119±10 117±10	36±5 36±5
95±10 98±10	102±10 102±10	96±10 96±10	117±10 140±10	131±10 141±10	157±10 170±10	154±10 154±10	44±7 44±7
65±10 66±10	85±10 86±10	85±10 85±10	78±10 83±10	103±10 106±10	175±10 190±10	160±10 162±10	41±6 41±6
45±10 46±10	51±10 58±10	55±10 59±10	55±10 61±10	93±10 96±10	80±10 85±10	80±10 83±10	20±3 20±3
— —	— —	— —	— —	45±10 46±10	60±10 65±10	56±10 56±10	— —
(2750) (50±10) [図 No.2]	(2700) (50±10) [図 No.2]	(2700) (50±10) [図 No.2]	(2595) (50±10) [図 No.2]	(2665) (50±10) [図 No.-]	(2600) (50±10) [図 No.-]	(2680) (50±10) [図 No.-]	(2490) (50±10) [図 No.-]
— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
0.7	0.7	0.7	—	—	—	—	—
(2750) (1500±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(2680) (1800±50) (50±10)	(—) (—) (—)

適用範囲		モデル名		BSF2107HP	BSF2107HP	BSF28.16H	BSF36.15H	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	69(47)	69(47)	160(108)	150
			最大吐出圧力	MPa	15(22)	15(22)	8.5(13)	8.5
		7°-M最大地上高	m	—	—	28	36	
		適用号機		21970105302~	2199010305~	210101006~	2197010001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	36±1	36±1	36±1	35±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	19±1	19±1	19±1	25±1	
		かくはんモータ油圧	MPa	16±1	16±1	16±1	25±1	
		ブーム油圧	MPa	—	—	35±1	35±1	
		ACCガス封入圧力	MPa	9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2800)	(2670)	(2600)	(2600)		
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1900±50)	(1800±50)	(1760±50)	(1750±50)		
(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	—	—	—	—	
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	—	—	—	—	
		旋回ボルトの交換基準	年	—	—	—	—	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	—	—	103±15	140±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(360)	(365)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(2600)	(2600)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(1760±50)	(1750±50)	
	(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(50±10)	(50±10)		
	☆ シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	1.0以下	1.0以下	1.0以下	1.0以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. -]				
特記事項								

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

BSF36.15H	BSF36.15H	BSF36.16H	BSF42.16H	BSF46.16H	BSF52.15H	BSF52.16H	BSF20.07H
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
150	150	160	160	160	150	160	75(100)
8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5(5.7)
36(巻込式)	36(Z式)	36(Z式)	42	46	52	52	20
210100341~	210100936~	210101172~	2199010326~	210102285~	2195010001~	210101985~	210103197~
検 査 基 準 値							
32±1	34±1	36±1	36±1	36±1	35±1	36±1	33±1
19±1	19±1	19±1	19±1	19±1	25±1	19±1	19±1
16±1	16±1	16±1	16±1	16±1	25±1	16±1	16±1
35±1	35±1	35±1	35±1	35±1	35±1	35±1	33±4
9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5
(2750)	(2700)	(2700)	(2595)	(2665)	(2600)	(2680)	(2490)
(1500±50)	(1530±50)	(1530±50)	(1710±50)	(1800±50)	(1750±50)	(1800±50)	(2000±50)
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
—	—	—	880	880	1750	1750	265
—	—	—	880	880	1750	1750	265
—	—	—	注1	注1	注1	注1	注1
140±15	135±15	133±15	160±15	177±15	220±15	218±15	68±10
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(365)
(2750)	(2700)	(2700)	(2595)	(2665)	(2600)	(2680)	(2490)
(1500±50)	(1530±50)	(1530±50)	(1710±50)	(1800±50)	(1750±50)	(1800±50)	(2000±50)
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. -]	[図 No. -]	[図 No. -]	[図 No. -]	[図 No. -]	[図 No. -]	[図 No. -]	[図 No. -]
		注1： 旋回ベアリング取付ボルトの中で緩み（新車基準トルク以下）、折損、脱落がある場合は、そのボルトと両隣各2本の計5本のボルトを交換する。					

プツマイスタージャパン

項目	測定方法	計測姿勢
ブームシリンダ 自然降下		<p data-bbox="882 338 1406 405">図-1 ブームシリンダ自然降下量測定姿勢 (下図参照)</p> 
ブーム作動速度		<p data-bbox="951 1032 1342 1061">図-2 ブーム作動速度測定姿勢</p>  <p data-bbox="480 1738 564 1760">ブーム (1)</p> <p data-bbox="667 1738 751 1760">ブーム (2)</p> <p data-bbox="879 1738 963 1760">ブーム (3)</p> <p data-bbox="879 1765 1082 1809">ブーム (4) を少し開いて行う (リンクとの干渉を避ける為)</p> <p data-bbox="1161 1738 1246 1760">ブーム (4)</p> <p data-bbox="1177 1765 1465 1809">ブーム (4) を僅か開いたところからスタート (リンクとの干渉を避ける為)</p>

新潟鐵工所

適用範囲		モデル名		NCP7FB	NCP10FB	NCP11FB	NCP11FB-253	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	73	100	110	110
			最大吐出圧力	MPa	5	8.82	7.85	7.85
		アーム最大地上高	m	16	21	21	25	
		適用号機		7B012~	10B001~	11B001~	11B001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	27~29	38~42	36~40	36~40
			ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(1800)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)	(1800)	
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
	真空ポンプ	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	33~36	26~28	33~36	33~36
			チェーンのたわみ	mm	15	15	15	15
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(1800)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)	(1800)	
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
	シリンダ	自然降下量	圧力設定値	Pa	—	—	—	—
			(設定値到達時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)
圧力降下許容値			Pa	—	—	—	—	
	(保持時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—		
作業装置	ブーム	ブーム (1) シリンダ	mm	1	1	1	1	
		ブーム (2) シリンダ	mm	1	1	1	1	
		ブーム (3) シリンダ	mm	1	1	1	1	
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—	
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—	
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)	
	(作動計測条件)	[図面No.]	(—)	(—)	(—)	(—)		
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	
	☆ブームシリンダ	作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	30~40	55~60	55~60	35~40
			ブーム (1) 縮み	sec	75~85	75~80	75~80	85~90
			ブーム (2) 伸び	sec	50~55	55~60	55~60	50~60
			ブーム (2) 縮み	sec	80~90	65~70	65~70	75~80
ブーム (3) 伸び			sec	25~35	35~40	35~40	40~45	
ブーム (3) 縮み			sec	35~40	55~65	55~65	70~75	
	ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	—		
	ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	—		
	ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—		
	ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—		
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(1800)		
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]		
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力 油圧	MPa	9.81	17.2	9.81	9.81	
		吐出圧力 水圧	MPa	4.3	4.1	4.3	4.3	
	空圧機		吐出圧力	MPa	0.69	0.69	0.69	0.69
(油圧ポンプ回転数)			(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(1800)	
(エンジン回転数)			(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)	(1800)	
	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

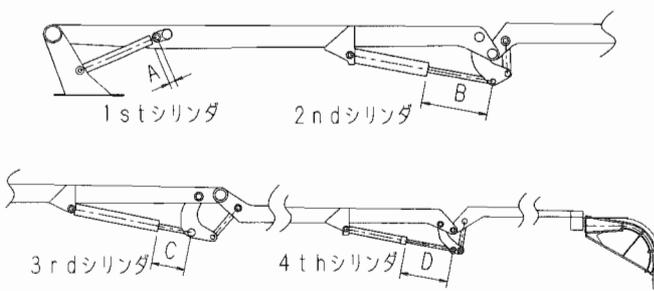
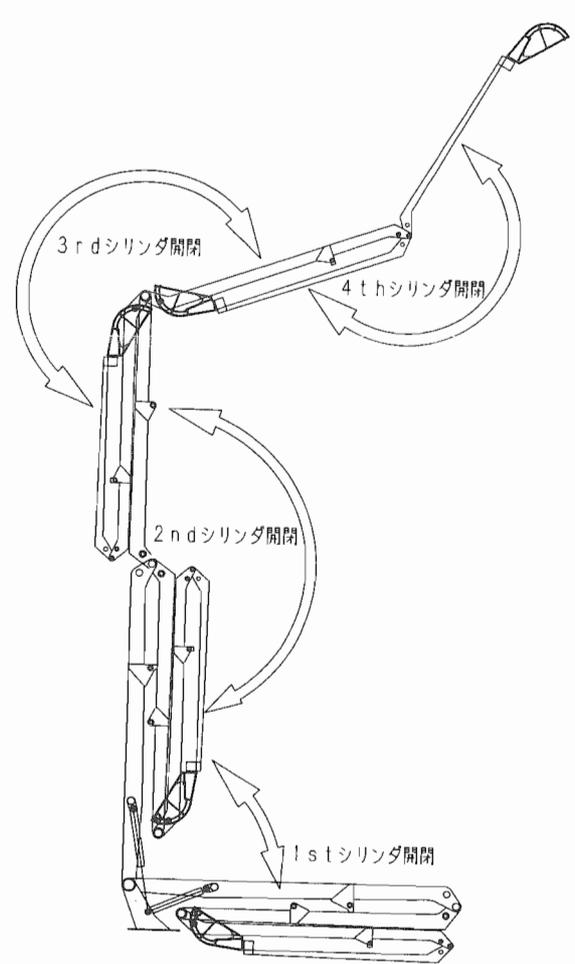
NCP11FB-264	NCP11FB-303	NCP11FB-324	NCP12FB-324	NCP12FB-334	NCP13FB-364	NCP9T	NCP10T
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
115	110	115	110	120	128	90	105
7.06	7.85	5	7.85	7.85	7.85	8.83	7.06
26	30	32	32	33	36	—	—
11BX001~	11BL001~	~11BS054	11BS055~	12BT001~	13BU001~	9T001~	10T001~
検 査 基 準 値							
36~40 —	36~40 —	36~40 —	31~33 —	32~34 —	26~28 —	38~42 —	32~34 —
(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (2500) (50 ± 5)	(2165) (2500) (50 ± 5)
33~36 15	33~36 15	33~36 15	33~36 15	33~36 15	33~36 15	26~28 15	33~36 15
(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (2500) (50 ± 5)	(1633) (2500) (50 ± 5)
— (—)	— (—)	— (—)					
— (—)	— (—)	— (—)					
—	—	—	—	—	—	—	—
1 1 1 1 —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 1 —	1 1 1 1 —	1 1 1 1 —	1 1 1 — —	— — — — —
(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(10) (—) [図 No.1]	(—) (—) [—]	(—) (—) [—]
40~50 110~125	60~65 110~115	60~65 190~220	60~65 190~220	75~82 190~220	85~90 220~240	— —	— —
45~50 90~100	60~65 105~110	80~90 150~180	80~90 150~180	80~90 150~180	95~100 190~200	— —	— —
40~45 75~85	40~45 80~85	55~65 100~120	55~65 100~120	55~65 100~120	80~90 130~140	— —	— —
15~20 55~65	— —	30~40 75~95	30~40 75~95	30~40 75~95	30~40 90~100	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1800) (50 ± 5) [図 No.2]	(1800) (50 ± 5) [図 No.2]	(1800) (50 ± 5) [図 No.2]	(1800) (50 ± 5) [図 No.2]	(1800) (50 ± 5) [図 No.2]	(1800) (50 ± 5) [図 No.2]	— — —	— — —
9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	17.2 4.1	9.81 4.3
0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69
(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (2500) (50 ± 5)	(1633) (2500) (50 ± 5)

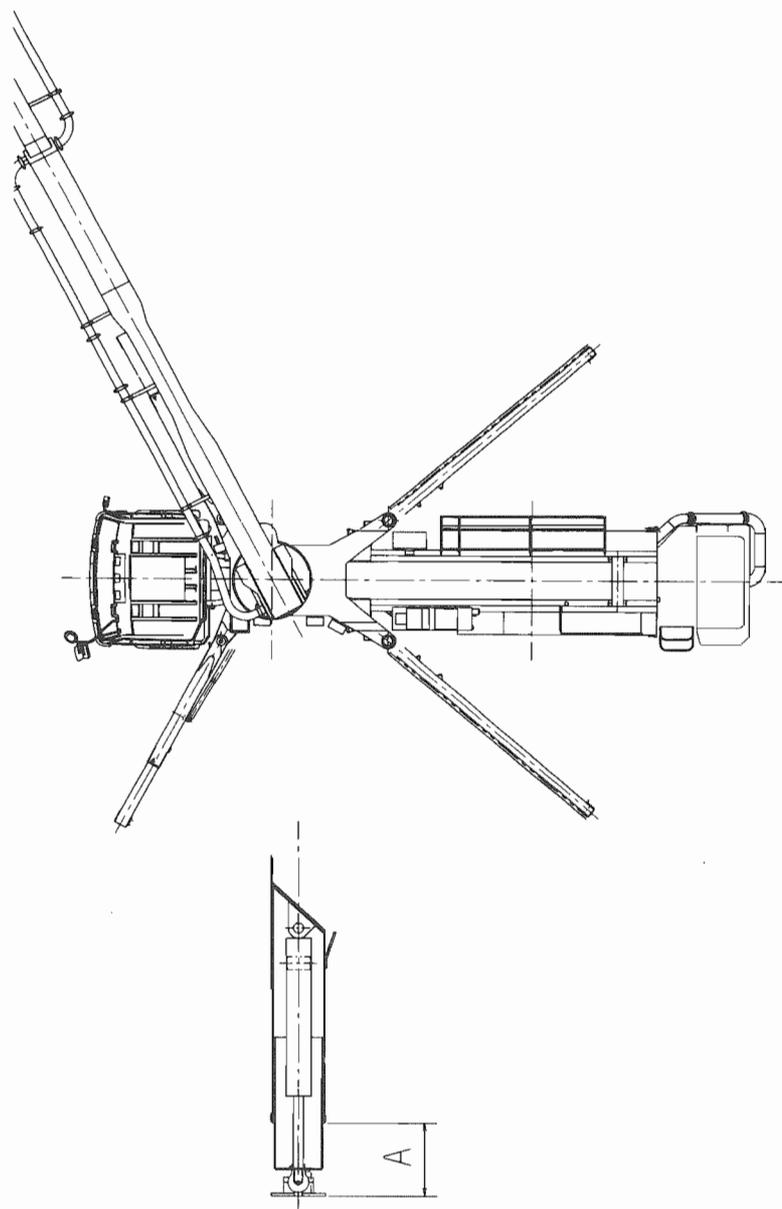
適用範囲		モデル名		NCP7FB	NCP10FB	NCP11FB	NCP11FB-253	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	73	100	110	110
			最大吐出圧力	MPa	5	8.82	7.85	7.85
			アーム最大地上高	m	16	21	21	25
適用号機				7B012～	10B001～	11B001～	11B001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	34.3	30.9	34.3	34.3	
		弁シリンダ油圧	MPa	13.2	13.2	13.2	13.2	
		かくはんモータ油圧	MPa	6.87	8.34	6.87	6.87	
		ブーム油圧	MPa	31.39	27.47	27.47	30.9	
		ACCガス封入圧力	MPa	7.2	7.2	7.2	7.2	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(1800)		
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)	(1800)		
(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	353～392	510～549	510～549	510～549	
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	353～392	510～549	510～549	510～549	
		取付けボルトの交換基準	年	注1	注1	注1	注1	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	160～180	120～140	120～140	140～160	
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(360)	(360)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(1800)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)	(1800)	
	☆ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
			各垂直シリンダ	mm	0.5	0.5	0.5	0.5
			(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 3]			
特記事項				注1： 旋回ベアリングの取付けボルトの交換基準を3年間とする。 但し、旋回ベアリング取付けボルトの中で1本でも緩み (新車基準トルク以下)、折損、脱落、がある場合は外輪、 内輪とも全数交換する。				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

NCP11FB-264	NCP11FB-303	NCP11FB-324	NCP12FB-324	NCP12FB-334	NCP13FB-364	NCP9T	NCP10T
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
115	110	115	110	120	128	90	105
7.06	7.85	5	7.85	7.85	7.85	8.83	7.06
26	30	32	32	33	36	—	—
11BX001～	11BL001～	～11BS054	11BS055～	12BT001～	13BU001～	9T001～	10T001～
検 査 基 準 値							
34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	30.9	34.3
13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2
6.87	6.87	6.87	6.87	6.87	6.87	10.3	6.87
30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	—	—
7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(2165)
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(2500)	(2500)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
510～549	510～549	510～549	510～549	510～549	677～726	—	—
510～549	510～549	510～549	510～549	510～549	677～726	—	—
注1	注1	注1	注1	注1	注1	—	—
160～180	280～300	340～380	340～380	340～380	380～400	—	—
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	—	—
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	—	—
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	—	—
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	—	—
0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	—	0.5
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	—	(10)
[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	—	[図 No. 3]
<p>注1： 旋回ベアリングの取付ボルトの交換基準を3年間とする。 但し、旋回ベアリング取付ボルトの中で1本でも緩み（新車基準トルク以下）、折損、脱落、がある場合は外輪、内輪とも全数交換する。</p>							

新潟鐵工所

項目	測定方法	計測姿勢
<p>ブームシリンダ 自然降下</p>	<p>各ブームセクションは水平にし、先端はドッキングホースのみとする。</p> <p>10分間の自然降下量をそれぞれ計測する。</p>	<p>図-1 ブームシリンダ自然降下量</p> 
<p>ブーム作動時間</p>	<p>次の順番にてブームシリンダ全ストローク作動時間を測定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、1st シリンダを伸ばす 2、2nd シリンダを伸ばす 3、3rd シリンダを縮める 4、4th シリンダを伸ばす 5、4th シリンダを縮める 6、3rd シリンダを伸ばす 7、2nd シリンダを縮める 8、1st シリンダを縮める <p>機種によりホースバスケットブームセクション等が干渉するものもありますので、充分注意して行ってください。</p> <p>ブームフックは必ず外れていることを確認してください。</p>	<p>図-2 ブームシリンダ作動時間測定要領</p> 

項目	測定方法	計測姿勢
<p>アウトリガシリンダ 自然伸縮</p>	<p>各ブームセクションは水平にし、先端はドッキングホースのみとする。</p> <p>ブームは各アウトリガの真上に来る位置にする。</p> <p>その状態で各アウトリガシリンダの10分間のAの縮み量を測定する</p>	<p>図-3 アウトリガシリンダ自然降下量要領</p> 

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表

平成12年3月	初版発行
平成18年1月	改訂A版発行
平成23年3月	改訂B版発行

発行 社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町3丁目7番1号
(ニュー九段ビル9階)

電 話 03-3221-3661

FAX 03-3221-3665

URL <http://www.sacl.or.jp>